

令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 茨城県つくばみらい市

自治体名：茨城県つくばみらい市

担当課名：教育指導課

電話番号：0297-58-2111

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

面積	79.16 km <sup>2</sup>
人口	53,503人
公立 中学校数	4校
公立中学校生徒数	1,469人
部活動数	48部活
市区町村の協議 会・検討会議等の 設置状況	随時、協議会を実施している
市区町村の推進計 画・ガイドライン等の 策定状況	国や県の方針を参 考に市のプランを公表  ガイドラインは検討中

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

スポーツ庁及び文化庁が令和4年12月に策定した「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」では、少子化が進む中、生徒が将来にわたりスポーツ・文化芸術活動に親しむことができる機会を確保するため、速やかに部活動改革に取り組む必要があるとされている。また、これまでの部活動は教師の献身的な勤務によって支えられてきており、長時間労働の一因となっている現状がある中、国では公立学校における働き方改革の視点を踏まえ、部活動改革を進めている。つくばみらい市でも、これらの社会的情勢を踏まえて、部活動改革を進めていく必要があると考え、以下のように業務を進めた。

つくばみらい市では、つくばみらい市総合型地域スポーツクラブ「スポーツクラブみらい」を主体とした部活動の地域移行を進めている。

スポーツクラブみらいは「生涯スポーツ活動社会」及び、「生涯文化活動社会」を目指し「誰でも」「いつでも」「いつまでも」を合言葉にスポーツ活動や文化活動に親しむことができる「新しいコミュニケーションづくりの場」を提供している団体である。

令和6年度、部活動地域移行の試行として、卓球部、剣道部、バドミントン部の土日の練習を移行した。平日の部活動については、これまで通り顧問による指導を継続した。地域移行該当部は教員主体で土日に練習のみの日は設けないこととした。練習の日程等の連絡はスポーツクラブみらいホームページ予定表により確認することとした。急な連絡はスポーツクラブみらいと各学校、市教育委員会が連携する場合もあった。

課題は、少子化による小規模化により団体競技のチーム編成ができず、部活動の再編成が必要であること、専門性や意志に関わらず顧問を務める先生の指導体制がまだ残っていること、練習場所がこれまでの通学していた中学校以外の場所で活動が行われる場合があること等である。また、練習試合や大会の場合、各学校顧問または部活動指導員が引率することとなっている。これでは、教職員に頼る現状がある。これらの課題を解決するため、令和7年度以降も部活動改革が必要である。

保護者、生徒をはじめ、地域スポーツクラブ、地域の方々、先生方の御協力により、8月より3つの部活動について移行が完了した。

## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



#### 生徒・保護者の動き

令和7年4月

2、3年生は現在所属する部活動を継続。卓球、バドミントン、剣道については、地域移行を継続。1年生は、部活動を選択し入部の手続きをする。この時点で卓球、バドミントン、剣道については、土日の部活動は、地域移行している。

令和7年5月

自分の入部した部活動で引き続き練習や試合等に励む。

令和7年6月

地域移行対象部活動が決定する。対象となった部活動については、8月以降の土日の練習会場や時間がこれまでと異なることがある。保護者説明会を実施予定であるので参加していただきたい。

令和7年7月

自分の入部した部活動で引き続き練習や試合等に励む。

令和7年8月中旬～

地域移行が決定した部活動の生徒は、土日の練習をスポーツクラブみらいに所属して行うことになる。（所属するかは自由に選択できる）

令和7年9月以降

土日の練習については、スポーツクラブみらいに所属して行う。

#### 中学校教職員の動き

令和7年2～3月

部活動の土日の練習について、兼職兼業を希望する場合、所定の手続きを行い、登録をする。

令和7年4月

新たにつくばみらいに転入した先生方にも兼職兼業の登録を伺う。

令和7年6月

地域移行対象部活動が決定する。校長会、市中体連連絡協議会等で先生方に周知する。保護者説明会を実施予定であり、生徒、保護者にも通知していく。

令和7年8月中旬～

地域移行対象部活動の地域クラブ活動指導者（時給1600円）となり、土日の練習をスポーツクラブみらいに所属して行う。

令和7年9月以降

土日の練習については、スポーツクラブみらいに所属して行う。

保護者、生徒をはじめ、地域スポーツクラブ、地域の方々、先生方の御協力により、8月より3つの部活動について移行が完了した。令和7年度は、市内に勤務する教職員の兼職兼業の希望調査や部活動の再編成の状況を考慮した改革を進める予定である。

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

中学校数	4校	実施した地域クラブ総数	3クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		3クラブ
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導者数	12人	全体の運営スタッフ数	2人

#### ②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
バドミントンクラブ	スポーツクラブみらい	バドミントン	月1~3回程度	およそ9時から12時	中学校1年・2年	令和6年8月より	伊奈東中学校	4人	2人	月会費0円 / 年会費0円	ここでは、チームを作らないので参加しない
剣道クラブ	スポーツクラブみらい	剣道	月1~3回程度	およそ8時から11時	中学校1年・2年	令和6年8月より	伊奈中学校	3人	2人	月会費0円 / 年会費0円	ここでは、チームを作らないので参加しない
卓球クラブ伊奈	スポーツクラブみらい	卓球	月1~3回程度	およそ9時から12時	中学校1年・2年	令和6年8月より	伊奈中学校	5人	2人	月会費0円 / 年会費0円	ここでは、チームを作らないので参加しない
卓球クラブ谷和原							谷和原公民館				
卓球クラブ小絹							小絹中学校				

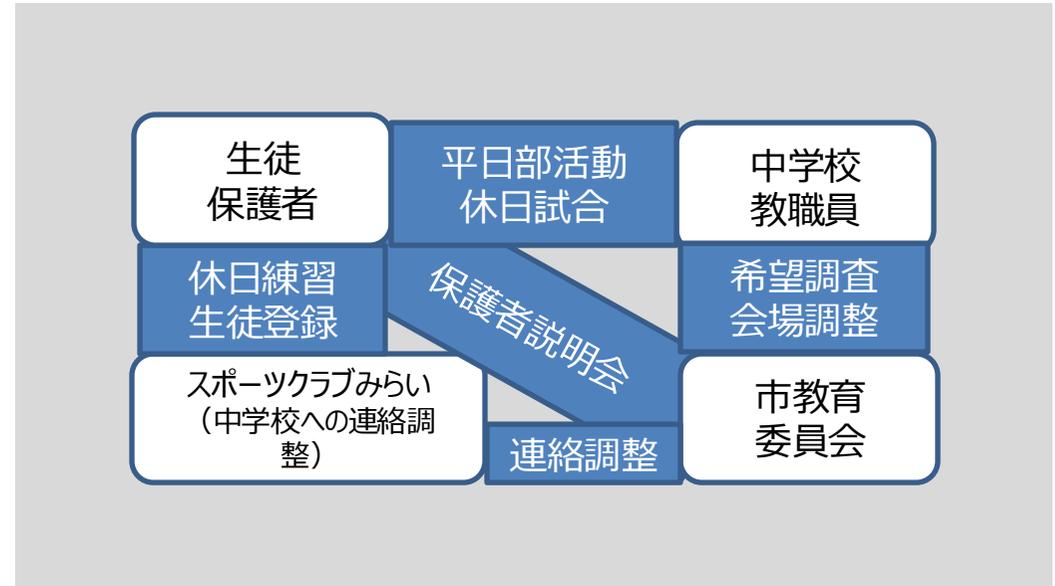
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ●活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	バドミントン、剣道、卓球
運営団体名	スポーツクラブみらい
指導者の主な属性	市民を中心とした地域の協力者 中学校の部活動指導員を兼務している場合もある
活動場所	市内各中学校 市公民館
主な移動手段	保護者に委ねているが自転車や自家用車での送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	0円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

#### ●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



#### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

##### ●統括責任者

役割：指導者への連絡調整、生徒保護者へ活動予定、計画を周知する。

##### ●指導者 12名

役割：活動における指導、活動予定の報告、実施報告を行う。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

令和6年5月21日市教育委員会において、つくばみらい市部活動地域移行連絡協議会を実施した。また、つくばみらい市中学生連に市職員が参加し、部活動の地域移行の方向性を説明した。

令和6年6月26日伊奈東中学校区、小絹中学校区の保護者を対象に部活動地域移行説明会を実施した。令和6年6月27日伊奈中学校区、谷和原中学校区の保護者を対象に部活動地域移行説明会を実施した。また、令和6年7月17日伊奈公民館、7月18日谷和原公民館において、小学校高学年5年生6年生の保護者を対象に部活動の地域移行説明会を実施した。

地域クラブ指導者に対しては、スポーツクラブみらいが主体となり、安全面・指導面に関する研修を2回実施した。コーディネーターとして、スポーツクラブみらいのマネージャーが各指導者の意見を聞いたり、現場に訪れたりして市教委と連絡を取りながら連携が取れるようにしていた。

##### 保護者に対する説明会の結果

###### 伊奈中の説明会について（参加者数22名）

卓球とバドミントンの地域移行に関するご質問が中心だった。温かい雰囲気でお話を聞いていただき、終了後は教職員の働き方改革が推進できないかという建設的な意見もあった。説明は30分ほどで、質疑応答が20分程度だった。その後、20分ほど保護者の個人的な質問について市職員が回答した。

###### 伊奈東中での説明会について（参加者7名）

地域移行における、具体的な確認や質問が多かった。伊奈東中での参加者は2年生の保護者が4名3年生の保護者が1名、そして議員2名が参加していた。「部活動指導員と外部指導員の違いは何か」「小学校5年生に弟がいるが、バドミントン部がなくなってしまうと聞いている、大会や練習試合には出られるのか」「部活動指導員はきちんと指導ができるのか」といったものが主な内容だった。途中、校長も学校の状況と地域移行の流れを説明したり、参事が他市の様子や部活の種目によって状況に違いはあるが、地域移行の現状を説明したりした。終了後は、保護者や議員との30分ほどの交流があった。

###### 谷和原中の説明会について（参加者15名）

1年生の保護者10名、2年生の保護者4名、3年生の保護者1名であった。円滑には進み、質疑も多くあった。来年度も説明会を開催してほしいという要望もあった。

###### 小絹中での説明会について（参加者数20名）

8月からの地域移行対象部活動に生徒が所属する保護者が多かった。説明の際は、穏やかな雰囲気で行った。質疑応答の時間には、地域移行の資料の内容についての確認が多かった。40分程、質疑応答の時間があり、多くの質問があった。終了後は市職員と卓球部の保護者で30分程度の話し合いがあった。また、地域クラブ活動指導員も参加しており、これからの対応について情報を共有した。

##### 今後の課題と対応方針

部活動の地域移行に関しては、全国的に見てもまだ課題が多いと考えられる。この改革で一番大切なのは、主体となる生徒や保護者の気持ちである。すべての要求に応えることはできないとしても、できる限りの検討をしていく必要がある。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

##### 取組事項

スポーツクラブみらいが雇用主となり指導者を確保している。指導者については、地域の方で、特に資格等の指定はなく、各競技の経験歴や指導歴をもつ者とした。これ以外に、高校生がボランティアで手伝っている場合もある。

##### 登録者属性

つくばみらい市内の中学校で部活動指導員として活躍している方々が多い。その他、市の会計年度職員として勤務している方に協力いただいた。また、これまでにスポーツクラブみらいと関係があった指導者に声をかけ指導の依頼をした。これ以外に、広報活動をスポーツクラブみらいのHPを通して実施している。

##### 種目と指導員の特徴

剣道

・有段者で、部活動指導員の経験がある。

卓球

・これまでに学校と携わった方が多く、部活動指導員の経験がある場合もある。

バドミントン

・部活動指導員や部活動外部指導者の経験がある。

##### 指導者研修の内容

令和6年9月9日市教育委員会にて吉田多一郎氏（スポーツクラブみらい所属クラブマネジャー）を講師として「部活動地域移行に関して」という演題で講演を実施していただいた。内容としては、これからの部活動地域移行に関すること、スポーツクラブみらいに関すること、安全管理、生徒指導に関することが主だった。参加者は各中学校の部活動担当者、つくばみらい市部活動指導員、つくばみらい市部活動外部指導者（任意の参加）とした。

また、7月に地域クラブ活動指導者対象に、つくばみらい市スポーツクラブみらいの本部にて、研修会及び地域移行の打ち合わせを実施した。

##### 受講者の声

・このような研修会があると安心する。他の指導者がどのように考え、感じているかを知ることができた。  
・この打ち合わせをもっと実施してほしい。意見交換等を行っていきたい。

##### 今後の課題と対応方針

・競技ごととなると、どうしても孤独感を感じてしまう場合がある。定期的に研修会を実施することで情報交換等を実施していきたい。

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

**オ：内容の充実**  
 カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
 ク：その他の取組



## 取組内容

### ●取組項目名 オ：内容の充実①

取組事項	活動の詳細
<p>【バドミントンクラブ】 講師：バドミントン指導経験者                      会場：伊奈東中学校体育館                      日時：土曜日又は日曜日 3時間程度                      (準備・片付け時間を含む)                      対象：中学生(1, 2年生)                      送迎：保護者又は自転車など                      準備物：ラケット                      ※更衣室は男女別であります。</p>	 <p>令和6年度、バドミントンクラブについては、伊奈中学校と伊奈東中学校の生徒が参加した。</p>
<p>【剣道クラブ】 講師：長井尚之先生                      会場：伊奈中学校武道場                      日時：土曜日又は日曜日 3時間程度                      (準備・片付け時間を含む)                      対象：中学生(1, 2年生)                      送迎：保護者又は自転車など                      準備物：防具、竹刀、タオル、水筒                      ※更衣室は男女別であります。</p>	 <p>【卓球クラブ】 講師：飯田勝彦先生                      会場：伊奈中学校武道場                      日時：土曜日又は日曜日 3時間程度                      (準備・片付け時間を含む)                      対象：中学生(1, 2年生)                      送迎：保護者又は自転車など                      準備物：ラケット                      ※更衣室は男女別であります。</p>
<p>【卓球クラブ】 講師：島崎堅理先生                      会場：小絹中学校卓球場(武道場)                      日時：土曜日又は日曜日 3時間程度                      (準備・片付け時間を含む)                      対象：中学生(1, 2年生)                      送迎：保護者又は自転車など                      準備物：ラケット                      ※更衣室は男女別であります。</p> 	<p>【卓球クラブ】 講師：寺田寿子先生                      会場：谷和原公民館卓球場                      日時：土曜日又は日曜日 3時間程度                      (準備・片付け時間を含む)                      対象：中学生(1, 2年生)                      送迎：保護者又は自転車など                      準備物：ラケット                      ※更衣室は男女別であります。</p> 

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

##### 取組事項

令和6年度、つくばみらい市は、茨城県教育委員会が実施する令和6年度運動部活動の地域移行に向けた実証事業を、委託要項に基づき、1,253,000円で契約した。事業内容としては、「広域的な活動を行う総括コーディネーター等を配置し、関係団体との連絡調整・指導助言等を行う。」、「総括コーディネーターが中心になって、総合型の地域スポーツクラブと学校をつなぎ、休日の部活動の指導者の勤務状況等を把握し、市町村担当につなぐ。」「本市には、総合型地域スポーツクラブ（スポーツクラブみらい）が存在し、休日の部活動の地域移行に係る指導者をスポーツクラブみらいから派遣する形式を試行する。」である。つくばみらい市（再々委託先）は、スポーツクラブみらい（再々々委託先）と3,181,760円で委託契約した。

##### 持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

令和6年度を参考に、受益者にどれだけの負担が必要か算出すると、  
 3,181,760円 参加人数約100名  
 一人当たり約31,818円  
 8月より、月3回実施したとすると、3月までで24回  
 一回当たり約1,325円  
 以上より、月会費は3,978円程度を見込む必要がある。

しかし、課題としてクラブへの参加はの自由であるため、想定した人数の増減があり得る。また、保護者説明会で補助の必要性がある意見をいただいていることから行政で検討することが必要である。

##### 令和7年度に地域クラブに係る経費

予算関係<令和7年度>	
【消耗品費】	
卓球各所	70,000円
	計210,000円
バドミントン	
	計210,000円
剣道	
	計210,000円
未種目各所	70,000円 3か所分
	計210,000円
未種目各所	52,500円 4か所分
	計210,000円
仮吹奏楽	計210,000円
【地域移行コーディネーター】	
	1600円×7時間×50日
	計560,000円
【地域部活動（スポーツ）指導者謝礼時給1,600円】	
	36回分（12か月分）×24人
	計4,147,200円
【スポーツ安全保険】	
	一人800円×1,549人分
	計1,239,200円
以上計	7,206,400円

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
**ク：その他の取組**

### 取組内容

#### ●各クラブ活動の様子



#### 【卓球クラブ】

会場：伊奈中学校武道場

日時：土曜日又は日曜日 3時間程度  
(準備・片付け時間を含む)

この他、谷和原中、小絹中でも実施

#### ＜参加者の声＞

- ・先生たちがたくさんのことを教えてくれる。
- ・コミュニケーションがよく取れている。
- ・うまい人と試合でき、経験になる。
- ・もっと地域の人と交流したい。

#### 【バドミントンクラブ】

会場：伊奈東中学校体育館

日時：土曜日又は日曜日 3時間程度  
(準備・片付け時間を含む)

#### ＜参加者の声＞

- ・普段の部活とは違い、シャトルをシャトルをたくさん打てるのがうれしい。
- ・指導者の先生が専門家なので技術が向上するし、ルールも正しく理解することができる。
- ・普段と環境が違うので、新鮮で良い面もあるが、慣れないのがある。

#### 【剣道クラブ】

会場：伊奈中学校武道場

日時：土曜日又は日曜日 3時間程度  
(準備・片付け時間を含む)

#### ＜参加者の声＞

- ・専門的な指導名が受けられてうれしい。
- ・個別に指導してもらえる。
- ・冷暖房等の設備があるとよい。

# 3. 今後の方向性

## 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

### ● 総括

令和6年度は、部活動地域移行の試行として、卓球部、剣道部、バドミントン部の土日の練習を移行した。平日の部活動については、これまで通り顧問による指導を継続した。

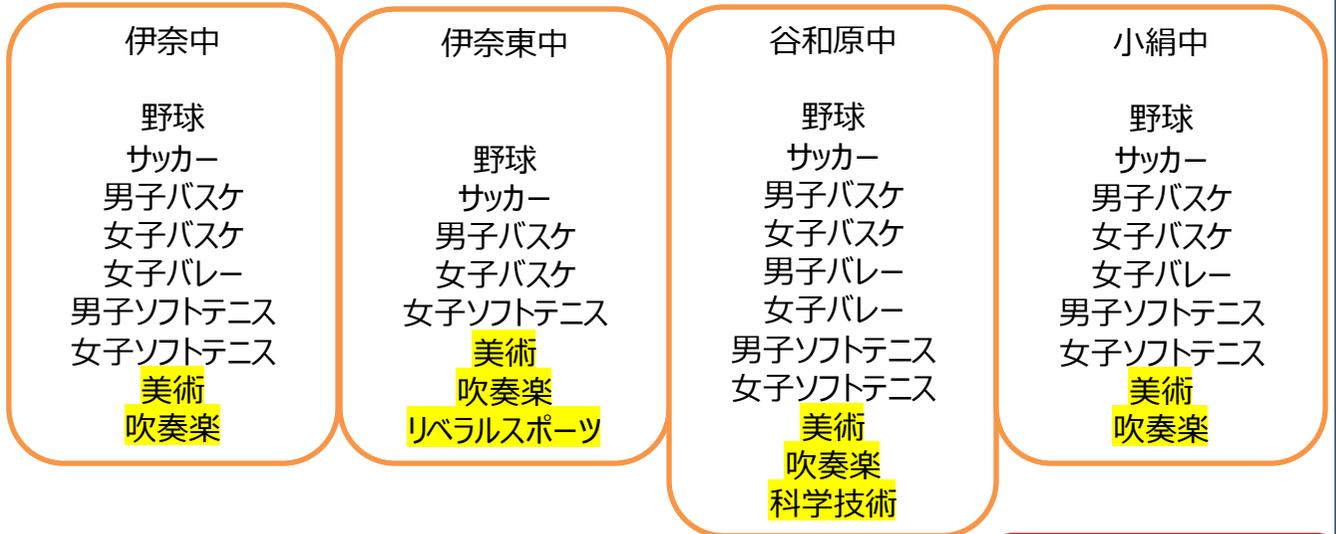
部活動の地域移行について、つくばみらい市総合型地域スポーツクラブ「スポーツクラブみらい」を活動の主体として計画を進めた。

令和7年度は、部活動地域移行の試行として市内の複数の土日の練習を移行する。また、教員の部活動の希望調査を実施し、土日の兼職兼業の規定・運用を策定・改善する。

### <令和6年度のこれからの予定>

- 12月 部活動地域移行に関する会議  
地域移行後のスポーツクラブに関するアンケート
- 1月 部活動地域移行に関する会議 先生方への説明会  
新入生説明会における地域移行の説明  
伊奈2/6 伊奈東1/31  
谷和原1/30 小絹1/28
- 2月 部活動地域移行に関する会議
- 3月 部活動地域移行に関する会議  
地域移行部活動の検討

### ● 今後に向けて 黄色網掛けは移行重点部活動 卓球・バドミントン・剣道は移行完了



つくばみらい市のニーズと指導者の確保

令和6年度は、卓球、バドミントン、剣道の地域展開完了

スポーツクラブみらいを主体とした地域スポーツクラブ指導者による指導

令和7年度は、学校の先生方による兼職兼業の手続きを開始（4月末までに手続き完了予定）

先生方の希望結果で、土日の部活動について地域移行が可能な部活動を選定（5月上旬）

令和7年度8月より土日の部活動について地域移行する部活動について、学校への説明会、保護者への説明会の実施（6月中）

卓球、バドミントン、剣道に続き、令和7年度8月より土日の部活動について地域移行する部活動の移行開始（8月中）

令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 茨城県 小美玉市

自治体名 : 茨城県小美玉市

担当課名 : 教育委員会スポーツ推進課

電話番号 : 0299-48-1111

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

面積	総面積144.7 km <sup>2</sup>
人口	48,523 人
公立中学校数	4 校
公立中学校生徒数	1,180 人
部活動数	37 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	未策定

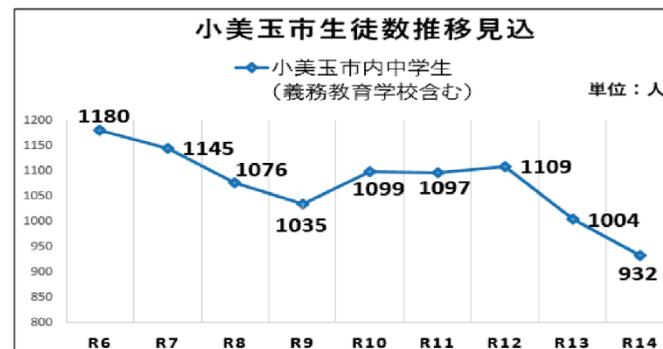
## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

本市には、中学校が2校、義務教育学校が2校あり、令和6年5月現在、全4校において運動部が28部（10種目）、文化部が9部（3種目）、合わせて37部が活動している。部活動加入率は80.8%だが、運動部の団体競技では、部員不足のため単独校でチームを編成することができず、合同チーム又は拠点校により、県中学校体育大会（総体・新人）に出場している種目も出てきている状況でもある。

また、中学校等の生徒数は減少傾向にあり、令和6年度の1,180人に対し、令和9年度の想定では100人超の減、令和14年度以降は

200人超の大幅な減少が見込まれている。

それらを踏まえ、既存の単一校単一チームの学校部活動の見直しを始め、地域の実態や生徒のニーズに合わせた多様なスポーツ環境の構築を目指すために、まずは休日の運動部活動の地域移行へ向けて、運営団体の体制整備を始め、指導者の確保、地域クラブ活動を運営する上で必要な費用負担等の課題解決を行い、地域クラブ活動の持続可能な体制を検討していく必要がある。



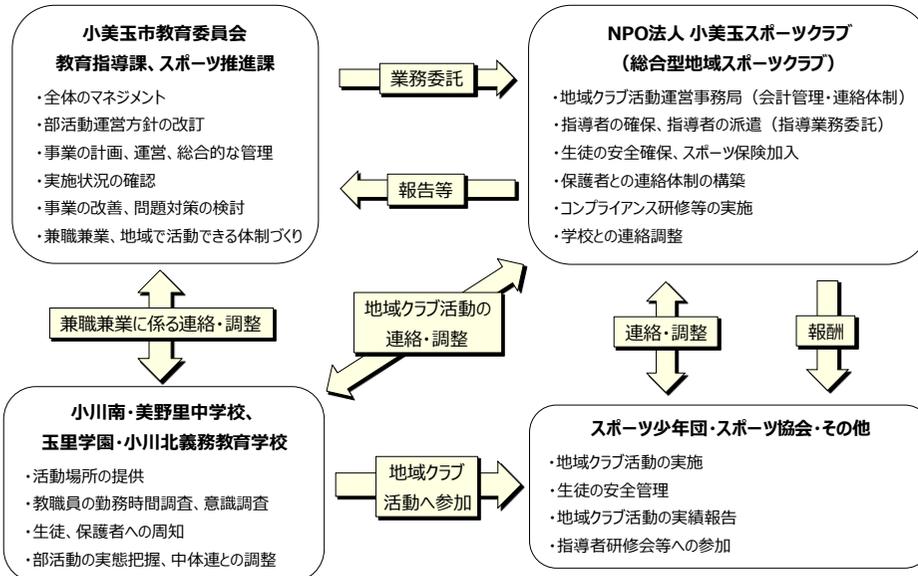
（令和6年5月1日現在 小1～中3までの在籍人数及び住民基本台帳から試算）

出典:小美玉市教育委員会教育指導課

# 2.実証内容と成果

## 運営体制・役割

### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



### ●行政組織内での役割分担

#### ◎教育委員会

- ・教育指導課…部活動運営方針の改訂、兼職兼業の整備、地域で活動できる体制づくり
- ・スポーツ推進課…全体のマネジメント、事業の計画・運営、総合的な管理、事業の改善、問題対策の検討等

#### ◎首長部局

- ・財政課…予算措置

## 年間の事業スケジュール

- 令和6年4月
  - ・地域クラブ活動の実施
  - ・指導者コンプライアンス研修会の開催
  - ・第1回検討委員会の開催
- 令和6年8月
  - ・地域クラブ活動実施状況に関するアンケートを実施（対象：生徒、指導者）
  - ・第2回検討委員会の開催
- 令和6年9月
  - ・中学部活動に関する事前アンケートを実施（対象：小学6年生）
  - ・中学校校長と検討会議の開催
- 令和6年10月
  - ・第3回検討委員会の開催
- 令和6年11月
  - ・第1回地域クラブの拠点校に向けて意見交換会の開催
  - ・拠点校部活動の外部指導者との意見交換会の開催
- 令和6年12月
  - ・第2回地域クラブの拠点校に向けて意見交換会の開催
  - ・第4回検討委員会の開催
- 令和7年1月
  - ・第3回地域クラブの拠点校に向けて意見交換会の開催
  - ・第5回検討委員会の開催
- 令和7年2月
  - ・指導者研修会（ASE講習）の開催

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

中学校数	4校	実施した地域クラブ総数	4クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		4クラブ（4部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導者数	14人	全体の運営スタッフ数	1人

#### ②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
男子卓球クラブ	総合型地域スポーツクラブ	卓球	月1～4回/ 週1回	9:00～ 12:00	1年：3人 2年：7人 3年：5人	4月～ 2月	玉里海洋センター	2人	1人 (内、兼務 1人)	月会費0円 / 年会費0円	中体連：部活動 その他：部活動
女子ソフトテニスクラブ	総合型地域スポーツクラブ	ソフトテニス	月1～4回/ 週1回	8:30～ 11:30	1年：5人 2年：5人 3年：6人	4月～ 2月	小川北義務教育学校	2人	1人 (内、兼務 1人)	月会費0円 / 年会費0円	中体連：部活動 その他：部活動
剣道クラブ	総合型地域スポーツクラブ	剣道	月2～4回/ 週1回	9:00～ 12:00	1年：0人 2年：3人 3年：1人	4月～ 2月	旧小川小学校/ 小川南中学校	6人	1人 (内、兼務 1人)	月会費0円 / 年会費0円	中体連：部活動 その他：部活動
陸上クラブ	総合型地域スポーツクラブ	陸上競技	月1～4回/ 週1回	8:30～ 11:30	1年：15人 2年：18人 3年：14人	4月～ 2月	美野里中学校 外	4人	1人 (内、兼務 1人)	月会費0円 / 年会費0円	中体連：部活動 その他：部活動

#### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

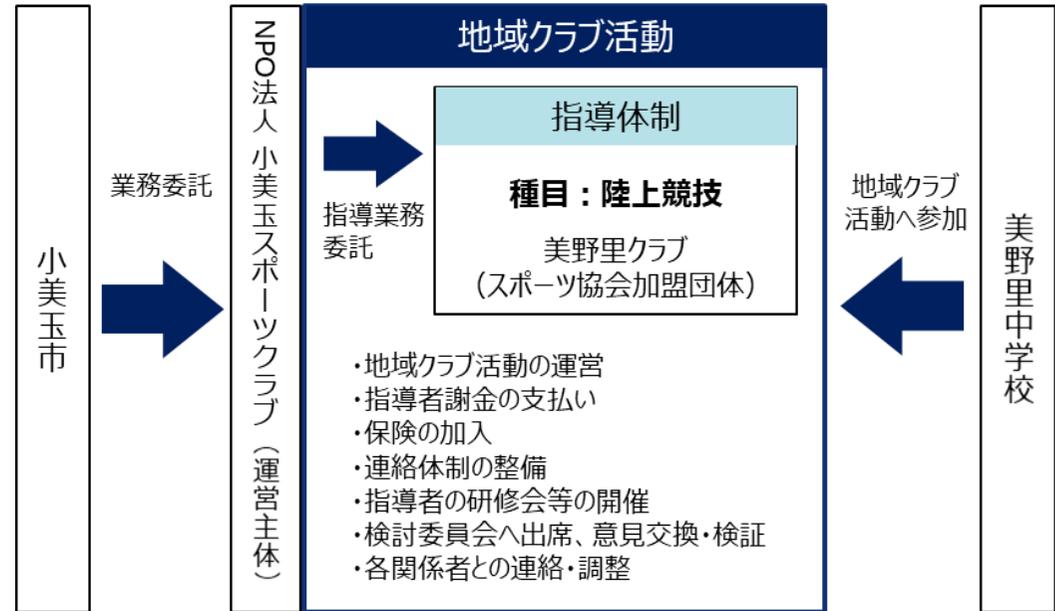
- 新入生と上級生の交流をより円滑かつ効果的に進めていくための指導者研修会（ASE講習）を開催

## 主な取組例

### ●陸上クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	陸上競技
運営団体名	NPO法人 小美玉スポーツクラブ
期間と日数	4月21日～2月23日 月1～4回程度
指導者の主な属性	美野里クラブ所属の指導者
活動場所	美野里中学校、石岡運動公園 外
主な移動手段	徒歩、自転車、保護者送迎
1人あたりの参加会費等(年額)	0円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

### ●運営体制図(地域クラブ活動を実施する際の運営体制図)



### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

#### ●統括責任者 (NPO法人 小美玉スポーツクラブ)

役割：活動における管理者として、日程調整、保護者との連絡等を行う

#### ●主任指導者 4名 (美野里クラブ)

役割：活動における主任者として、生徒への指導を行う

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

○総合型地域スポーツクラブのNPO法人 小美玉スポーツクラブへ事務局機能を委託し、会計管理、連絡体制の構築、人材派遣、指導者研修会、生徒の安全確保、保護者や学校との連絡調整等の取組を実施する。

##### 取組の成果

○統括コーディネーターを配置したことにより、参加者や保護者、学校、指導者との連絡調整等を円滑に行う運営体制づくりを構築することができた。

○地域クラブ活動の参加者の管理、保護者や指導者への連絡体制は新たに構築せず、NPO法人 小美玉スポーツクラブが使用しているICT（Sgrum）の活用により、保護者等との連絡を円滑に行うことができた。また、地域クラブ活動中のケガによる保険適用申請についても、Sgrumを介し適切かつスピーディーに対応することができた。

○使用した保険サービスは「スポーツ安全保険」を選択。事業実施期間中に2件保険適用依頼があった。報告の流れとしては、①現場指導者→②事務局→③保護者のフローが円滑に進み、大枠の体制としては問題ないことがわかった。保護者に連絡後、事務局から指導者へも情報共有を行い、事案が落ち着くまで対応することができた。

#### コーディネーターの具体的な動きの実績

【統括コーディネーター】

- ・学校、参加者、指導者への連絡調整を実施
- ・スポーツ安全保険の加入手続きを実施
- ・指導者の勤務状況管理、謝金の支払い、研修会を実施

#### 今後の課題と対応方針

- 現在、統括コーディネーターを1名配置し、地域クラブ活動を実施しているが、今後の地域クラブ活動数の増加を考えると、コーディネート業務を担う人材の発掘・育成、担当職員の増員、指導者の確保等、地域クラブ活動の運営体制の整備・強化は必要となってくる。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

##### 取組事項

- ・指導者1名の地域クラブ活動は、複数人による指導体制を構築するため、指導者の確保に努める。
- ・新たな指導者に対して、コンプライアンス研修会を開催する。
- ・指導者に対して、資質向上のための研修会を開催する。

##### 種目

- ・剣道
- ・陸上競技
- ・男子卓球
- ・女子ソフトテニス

##### 資格有無

- ・男子卓球、陸上競技については、部活動指導員の資格あり。また、女子ソフトテニスや剣道は指導を依頼している団体内において、資格保有者あり

##### 取組の成果

- ・指導者14名を確保し、すべての地域クラブ活動で指導者2人以上の指導体制を構築することができた。
- ・陸上競技では、1回の地域クラブ活動に最大4人の指導者が当たり、指導体制の充実を図ることができた。
- ・指導者コンプライアンス研修会を実施し、新たな指導者2人の参加があった。
- ・指導者研修会（ASE講習）を実施し、7人の参加があった。



【指導者研修会】

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

##### 指導者研修の内容

###### 【指導者コンプライアンス研修会】

- ・対象：新たな地域クラブ活動指導者
- ・目的：指導者として中学生と接していく上で、重要となる事柄について共有を図る。

###### 【指導者研修会（ASE講習）】

- ・対象：地域クラブ活動指導者
- 目的：コーチングとティーチングの適切な使い分けを共有し、新年度から地域クラブ活動に加入する中学1年生及び義務教育7年生と上級生が円滑にチームワークを発揮していくための助けとなる時間やメニューの作り方を学ぶ。

##### 指導者研修の参加実績

- 【コンプライアンス研修】 ・開催日：4月15日、4月24日
  - ・開催回数：2回
  - ・参加人数：2人
- 【指導者研修会（ASE講習）】 ・開催日：2月16日
  - ・開催回数：1回
  - ・参加人数：7人

##### 受講者の声

指導者研修会（ASE講習）に参加した地域クラブ指導者の声  
「コーチの声かけのタイミングなど、普段と違う視点をもたらした。場面やタイミングによってうまく使い分けたい。」  
「新入生との顔合わせに使えるメニューを教えてくださいました。実際に使えるタイミングがあれば活用していきたい。」

##### 今後の課題と対応方針

○複数人による指導体制は構築できたが、中長期的な視点から見ると指導者不足が解消されたわけではない。持続可能な運営ができる組織体制の整備を行う上では、指導者の確保が課題となる。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

##### 取組事項

- スポーツ少年団、スポーツ協会等と連携し、人材バンクへの登録や指導者の派遣体制を構築する。
- 教員の兼職兼業の制度設計を行い、地域で活動できる体制づくりを構築する。

##### 取組の成果

- 外部指導者やスポーツ協会等と連携し、新たな地域クラブ活動の指導者を確保することができた。
- 中学校・義務教育学校校長と会議を実施し、教員の兼職兼業については、地域クラブ活動指導者は教員以外の指導者が中心となり、サポートするかたちで兼職兼業の承認を受けた先生方が指導に参加するなど、地域で活動できる体制づくりの構築に向けて検討を進めることができた。

##### 今後の課題と対応方針

- 休日の部活動の地域移行を進める上で、専門的な指導ができる指導者の確保が大きな課題となる。  
→教員の兼職兼業ありきでの地域移行を進めてしまうと、持続可能な事業にならないため、教員ではない外部指導者を発掘・育成していく必要がある。
- スポーツ団体等との連携を始め、保護者等の地域の中から指導できる人材を発掘・確保する体制づくりを検討する必要がある。  
→保護者の中で、スポーツ経験があり、指導現場に立っても良いという方がいた場合には、行政・地域・スポーツクラブを巻き込んで環境を整備していきたい。その中で保護者の生徒が卒業した後に指導者がいなくなってしまうケースを防ぐ働きかけを行っていく必要がある。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

**エ：面的・広域的な取組**

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

##### 取組事項

- 令和6年度から拠点校部活動に移行した女子バレーボールの休日の部活動の地域移行に向けて、拠点校や指導者候補と体制づくりを検討する。
- 地域クラブ活動を実施している剣道は、部員不足により個人戦のみで大会に出場していたが、指導者と意見交換を実施し、個人戦・団体戦共に出場できる体制づくりを検討した。

##### 取組の成果

- 女子バレーボールの地域移行は、指導者と活動予定が合わず、地域クラブ活動には展開できなかったが、指導者からは月4回ではなく月1回程度なら指導が可能と回答をいただいたことで、次年度以降、まずは月1回程度の地域クラブ活動が実施できる方向で調整することができた。
- 地域クラブ活動を実施している剣道を、令和7年度から拠点校部活動に移行し、県中学校体育大会へ出場することが可能となったことで、他の学校からも生徒が参加できるかたちを整えることができた。

##### 今後の課題と対応方針

- 既存の学校部活動の見直しを進める中で、どのように地域移行へつなげていくか検討が必要となる。
- 拠点校部活動により地域移行を進める上で、保護者の送迎等を含め参加者の移動手段が課題となる。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

**オ：内容の充実**  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 オ：内容の充実①

##### 取組事項

○「地域クラブ活動実施状況に関するアンケート調査」を実施し、地域クラブ活動に参加している生徒及び指導者ニーズの把握に努めた。

○「中学部活動に関する事前アンケート」を実施し、次年度、中学部活動の対象となる児童の地域移行及び部活動に対する意識の把握に努めた。

##### 活動の詳細

参加人数	45 人	指導者数	5 人
属性	休日の地域クラブ活動に参加している生徒、指導者		
具体的な内容	地域クラブ活動の満足度や改善点、求めている内容、期待したいことなどを調査		
子供の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>● もう少し涼しくなるようにしてほしい（練習会場・時間）</li> <li>● 専門の練習を増やしてほしい</li> <li>● もう少しだけ練習時間を増やしてほしい</li> <li>● 指導者の方が来てくれてとても詳しく教えてくれて嬉しい。先輩がたくさんのことを教えてくれて嬉しい。</li> </ul>		
関係者の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>● まだまだ始まったばかりでわからない事ばかりです。自分も勉強しながら子供たちと学んでいきたいと思います。</li> <li>● 理想の活動回数：週2～3回</li> <li>● 活動時間の長さ：準備入れて3.5時間ほどかかる。欠席の連絡が遅くなりがち。指導者をもう少し増やしたい。</li> </ul>		
運営経費	0 円		

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

**オ：内容の充実**  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組

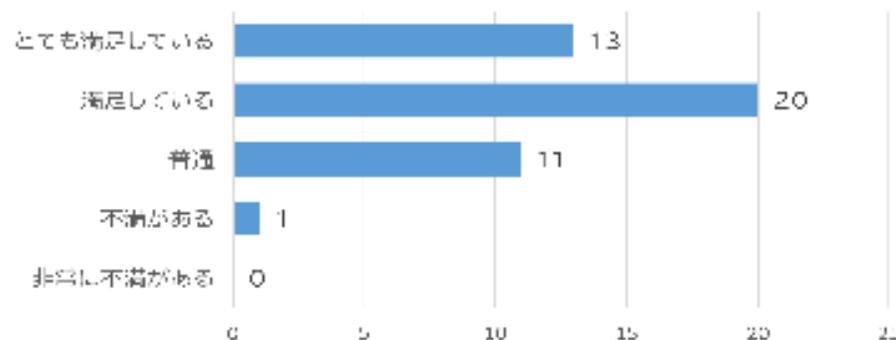


### 取組内容

#### ●取組項目名 オ：内容の充実①

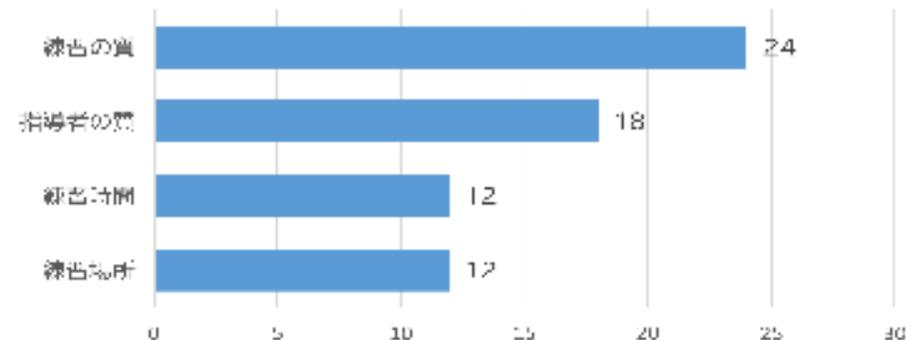
#### 令和6年度 地域クラブ活動実施状況に関するアンケート結果 対象：地域クラブ活動の参加者【R6.8月実施】

(1)活動の満足度  
45人の回答



「とても満足している」「満足している」と回答した方にお聞きします。

②どのような点に満足していますか？ ※複数回答可  
33人の回答



出典：小美玉市教育委員会スポーツ推進課

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

**オ：内容の充実**  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 オ：内容の充実②

##### 取組の成果

##### 【地域クラブ活動実施状況に関するアンケート】

○参加した中学生56人を対象としたアンケートの結果、回答者の73%が「とても満足している、または満足している」と回答している。

○指導者14人を対象としたアンケートの結果でも、回答者の100%が「満足している、または概ね満足している」と回答している。

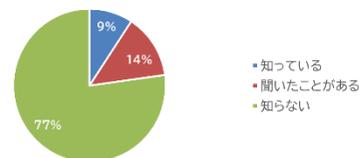
##### 【中学部活動に関する事前アンケート】

○次年度、中学部活動の対象となる小学生364人を対象としたアンケートの結果、回答者の72%が「部活動の地域移行先には、勝敗などにこだわらず楽しく活動できる場所を求めている」と回答している。

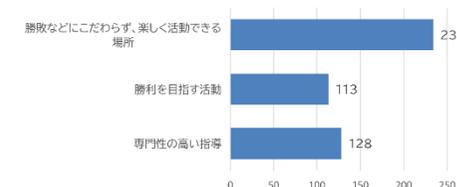
○回答者の78%は「部活動への入部を考えている」と回答した中、「入部を考えていない」と回答した小学生71人の内、49%が「やりたい種目や活動の部活動がない」と回答している。

令和6年度小学校6年生対象 中学部活動に関する事前アンケート【R6.9月実施】

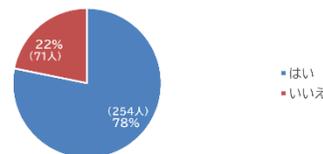
①現在スポーツ庁および文化庁が主導となって部活動を地域(民間)へ移行する動きが広まっているのを知っていますか？  
325人の回答



②部活動が地域(民間)へと移行した場合、移行した先の活動や指導者には何を求めていますか？ ※複数回答可  
325人の回答



③現在、中学校または義務教育学校後期課程で部活動への入部を考えていますか？  
325人の回答



④部活動に入らない理由をお聞かせください ※複数回答可  
71人の回答



【出典:小美玉市教育委員会スポーツ推進課】

##### 今後の課題と対応方針

○地域クラブ活動に参加している中学生を対象としたアンケートの結果、回答者の31%が「練習などの活動内容に自分たち(生徒)の意見を取り入れたい」と回答があった一方、指導者は「生徒の意見を取り入れる」が0%の回答だった。地域クラブ活動に対する生徒の主体性向上を目指す上で、生徒のニーズや意見が反映される仕組みづくりの検討が必要となる。

○次年度、中学部活動の対象となる小学6年生を対象としたアンケートの結果、回答者の77%が「部活動が地域へ移行する動きを知らない」という回答があり、今後、中学部活動の対象となる小学生とその保護者、地域クラブ活動に関わっていない方々に対し、学校部活動の地域移行への動きをどのように認知・周知を広げていくか検討が必要となる。

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



## 取組内容

### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

#### 取組事項

- 地域に移行する部活動と移行しない部活動で不公平感が生じないよう国費や市の自主財源を活用し、保険料も含め受益者負担は発生しない運営体制で取り組む。
- 持続可能な体制づくりを構築するため、受益者負担等の収入と指導者謝金や事務局人件費等の費用による収支構造を検証し、将来的な枠組み等の検討を行う。

#### 地域クラブに係る経費

- イニシャルコストの分析
- ・事務用品（5千円）

- ランニングコストの分析
- ・指導者謝金（967千円）
- ・事務局人件費（900千円）
- ・消耗品費（15千円）

#### 持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

小美玉市教育委員会スポーツ推進課 収支構造試算書（案）

収入	項目	単価	回数	月	人数	金額
収入	定期会費（第1回大会）1年（5月～7月）	2,000	25	3	150,000	
	定期会費（第2回大会）2年（5月～7月）	2,000	55	4	440,000	
	定期会費（第3回大会）1～2年（5月～7月）	2,000	55	4	440,000	
	定期会費（第3回大会）1～2年（12月～2月）	2,000	55	4	440,000	
	入会費	2,000	80		160,000	
スポーツ安全保険料（市費）		800	80		64,000	
合計						1,694,000

令和6年度に実施した地域クラブに該当する収入  
 1年：25人  
 2年：55人  
 3年：25人

令和6年度に実施した地域クラブに該当する支出  
 1年：25人  
 2年：55人  
 3年：25人

月謝金 2,400円  
 自己負担 293,500円（自己負担）

出典：小美玉市教育委員会スポーツ推進課

- 月謝の対象期間については、  
 新生児は入会後の5月から、  
 3年生は退会する7月までとする。
- 参加者の保険料については、  
 生徒の保護者が負担するべきものとして整理した。

#### 収支バランス

小美玉市地域スポーツクラブ協会（支援費負担）（案）

収入	項目	単価	回数	月	人数	金額
収入	定期会費（第1回大会）1年（5月～7月）	2,000	25	3	150,000	
	定期会費（第2回大会）2年（5月～7月）	2,000	55	4	440,000	
	定期会費（第3回大会）1～2年（5月～7月）	2,000	55	4	440,000	
	定期会費（第3回大会）1～2年（12月～2月）	2,000	55	4	440,000	
	入会費	2,000	80		160,000	
スポーツ安全保険料（市費）		800	80		64,000	
合計						1,694,000

令和6年度に実施した地域クラブに該当する収入  
 1年：25人  
 2年：55人  
 3年：25人

令和6年度に実施した地域クラブに該当する支出  
 1年：25人  
 2年：55人  
 3年：25人

月謝金 2,400円  
 自己負担 293,500円（自己負担）

出典：小美玉市教育委員会スポーツ推進課

- 月謝金額を決める基準として、  
 1回当たり500円で、月4回実施することを想定し、月額2,000円で試算したところ、受益者負担だけでは賄えなかった。
- 月謝金額を2,400円まで上げることで収支のバランスが取れた。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等②

##### 取組の成果

- 現在、国費や市の自主財源を活用し、保険料も含め受益者負担は発生しない運営体制で取組を開始しているため、生徒・保護者の負担は抑えられている。
- 今後、持続可能な体制づくりを構築するためには、必要な経費を賄う受益者負担を求めることは避けることができないと感じている。
- 受益者負担等の収入と指導者謝金や事務局人件費等の費用による収支構造を検証し、受益者負担の金額設定等含め、将来的な枠組み等の検討を進める。

##### 今後の課題と対応方針

- 持続可能な地域クラブ活動の運営体制を構築する上で、いつまで受益者負担なしで地域クラブ活動を展開していくのか、今後どのように受益者負担を発生させていくのか、受益者負担に対する保護者の理解は必要であり、大きな課題となる。また、経済的困窮世帯への参加費用負担支援等についても検討が必要となる。
- 参加者に負担を求める場合であっても、一定の人数の参加がなければ賄えないことになり、持続可能性に視点を置いた時にあやうい。持続的に活動することを前提とした仕組みを構築することが課題となる。

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



## 取組内容

### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等③

#### 資料

小美玉市地域スポーツクラブ活動 収支構造試算書（案①）

収入

項目	単価	人数	月	費用
参加者会費（第1回集金）1年 ※4月は集金なし 5・6・7月	2,000	25	3	150,000
参加者会費（第1回集金）2年～3年 4・5・6・7月	2,000	55	4	440,000
参加者会費（第2回集金）1～2年 5・9・10・11月	2,000	55	4	440,000
参加者会費（第3回集金）1～2年 12・1・2・3月	2,000	55	4	440,000
入会費	2,000	80		160,000
スポーツ安全保険 年間掛金（生徒）	800	80		64,000
合計				<b>1,694,000</b>

令和6年度に実施した地域クラブ活動を参考に試算  
 1年生：25人  
 2年生：30人  
 3年生：25人

月会費  とした場合  
**293,500円** が不足する

支出

項目	単価	時間	回数	月	クラブ数	費用
スポーツ活動費	指導者諸謝金	1,600	3	4	12	921,600
	指導者謝金（研修会）	5,000				45,000
	消耗品費					15,000
	小計					981,600
スポーツ活動費（保険料）	生徒	800	80			64,000
	指導者	1,850	14			25,900
	小計					89,900
事務局運営費	人件費（コーディネーター）	75,000			12	900,000
	事務用品					5,000
	雑役務費（振込手数料等）					11,000
	小計					916,000
合計						<b>1,987,500</b>

⇒ 自己負担

小美玉市地域スポーツクラブ活動 収支構造試算書（案②）

収入

項目	単価	人数	月	費用
参加者会費（第1回集金）1年 ※4月は集金なし 5・6・7月	2,400	25	3	180,000
参加者会費（第1回集金）2年～3年 4・5・6・7月	2,400	55	4	528,000
参加者会費（第2回集金）1～2年 5・9・10・11月	2,400	55	4	528,000
参加者会費（第3回集金）1～2年 12・1・2・3月	2,400	55	4	528,000
入会費	2,000	80		160,000
スポーツ安全保険 年間掛金（生徒）	800	80		64,000
合計				<b>1,988,000</b>

令和6年度に実施した地域クラブ活動を参考に試算  
 1年生：25人  
 2年生：30人  
 3年生：25人

月会費  とした場合  
**500円** が残額となる

支出

項目	単価	時間	回数	月	クラブ数	費用
スポーツ活動費	指導者諸謝金	1,600	3	4	12	921,600
	指導者謝金（研修会）	5,000				45,000
	消耗品費					15,000
	小計					981,600
スポーツ活動費（保険料）	生徒	800	80			64,000
	指導者	1,850	14			25,900
	小計					89,900
事務局運営費	人件費（コーディネーター）	75,000			12	900,000
	事務用品					5,000
	雑役務費（振込手数料等）					11,000
	小計					916,000
合計						<b>1,987,500</b>

⇒ 自己負担

出典：小美玉市教育委員会スポーツ推進課

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

- 4校のうち3校は、学校体育施設を中心に実証事業の活動が実施できるよう調整を行った。
- 1校については、平日の部活動の活動場所が校舎内の体育室になるため、休日の地域クラブ活動は学区内にある社会体育施設で実証事業の活動が実施できるよう調整を行った。

##### 取組の成果

- 活動する場所大きく変えずに実施することで、参加者・保護者の負担を可能な限り軽減することができた。
- 活動する場所が学校外になる地域クラブ活動は、学区内にある社会体育施設を利用することで、参加者・保護者の負担を軽減することができた。
- 廃校の学校体育施設を利用し活動していた地域クラブ活動は、年度内に廃校施設が取り壊しとなったため、解体工事が始まる前に学校体育施設で地域クラブ活動が実施できるよう学校と調整を行い、活動場所を確保することができた。

##### 今後の課題と対応方針

- 現在、実証事業として学校体育施設を中心に地域クラブ活動を実施しているが、休日の全ての学校運動部活動を地域クラブ活動に移行するまでには、学校部活動ではない地域クラブ活動のために学校体育施設や社会体育施設を使用する場合の優先利用を設けるか、使用料減免するかなど、要件や基準等について検討する必要がある。

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

○令和5年度の12月から4校4部活動を対象に休日の運動部活動の地域移行への取組を開始し、令和6年度も4月から継続して、地域クラブ活動を実施することができた。

○地域クラブ活動に参加した生徒を対象としたアンケートを実施した結果、回答者の73%が「とても満足している、または満足している」と回答があったことは、一定の成果があったと感じている。

○地域クラブの指導者については、新たな指導者を確保し、すべての地域クラブ活動で2人以上の指導体制を構築することができた。

○事務局機能として総括コーディネーターを配置し、新入生の地域クラブ活動への加入手続き、参加者や保護者、学校、指導者との連絡調整等を円滑に行う運営体制づくりを構築することができた。

○休日の学校部活動の現状と今後についてお知らせするチラシを配布し、地域移行に向けた取組状況を児童や生徒、保護者、地域クラブ活動に関わっていない方々に対して、認知・周知を広げることができたことは大きな一歩と感じている。

#### ●成果の評価

○4月から休日の地域クラブ活動を実施し、年間を通して取り組むことができた。

○アンケート調査を実施し、地域クラブ活動に参加している生徒及び指導者ニーズや、学校部活動の対象となる児童の意識の把握に努めた。

○全ての地域クラブ活動で、指導者2人以上の指導体制を構築した。

#### 令和6年度 地域クラブ活動の実施状況

種目	参加者 (生徒)	指導者		実施回数 (4月～2月)	1回あたりの 指導者数
		人数	主な属性		
男子卓球	15人	2人	個人(部活動指導員等)	27回	1人～2人
女子ソフトテニス	16人	2人	個人(外部指導者等)	26回	1人
剣道	4人	4人	小川少年剣友会	35回	1人
陸上競技	47人	6人	美野里クラブ	24回	1人～4人
計	82人	14人		112回	

#### ●今後に向けて

○地域クラブ活動へ展開する部活動を増やす上で、指導者の確保が課題となることから教員の兼職兼業制度を構築するなど、地域で活動できる体制づくりが必要となる。

○地域クラブ活動を実施している剣道は、休日の活動を継続しつつ令和7年度から拠点校部活動に移行するため、参加者の移動手段等の検討は必要となる。

○既存の学校部活動の見直しを進める中で、地域クラブ活動を実施する部活動を増やすために、どのように地域移行へつなげていくか検討が必要となる。

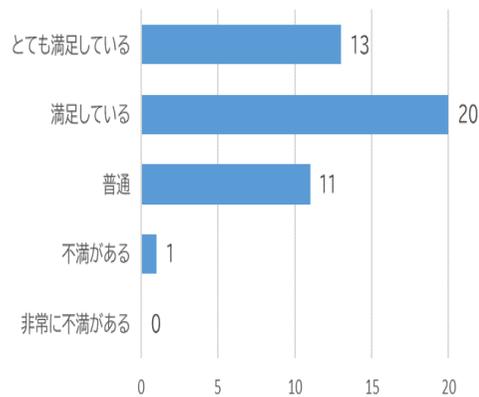
○地域クラブ活動を運営する上で必要となる経費に対する受益者負担の保護者の理解を、どのようにすすめるか検討が必要となる。

## 2.実証内容と成果②

### アンケート結果・参加者の声

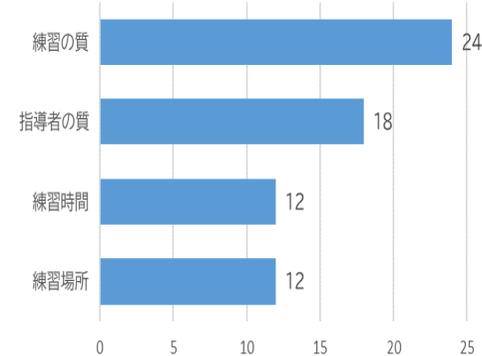
#### ●アンケート結果

##### Q.活動の満足度

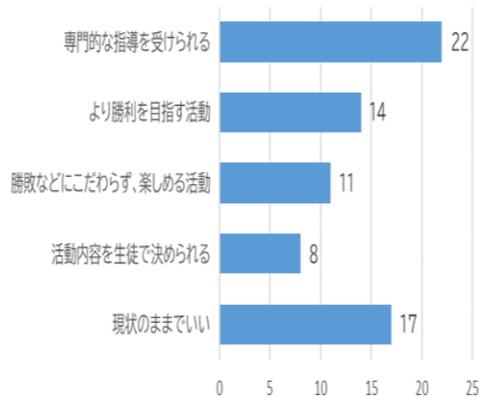


「とても満足している」「満足している」と回答した方にお聞きます。

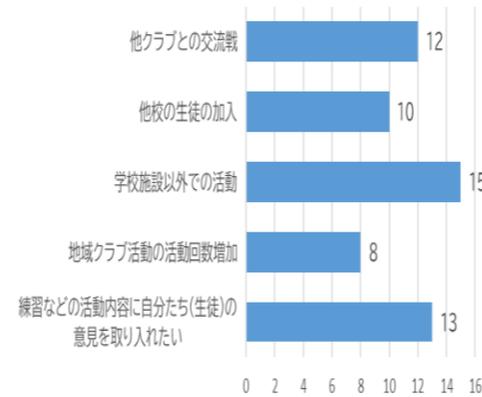
##### Q.どのような点に満足していますか？



##### Q.地域クラブ活動にはどのような指導や活動内容を求めていますか？



##### Q.今後さらにあっという間と思うものを教えてください。 ※複数回答可



#### ●参加者の声

##### 中学1年生（陸上競技）

専門の練習を増やしてほしい

##### 中学1年生（女子ソフトテニス）

指導者の方が来てくれてとても詳しく教えてくれて嬉しい。  
先輩がたくさんのことを教えてくれて嬉しい。

##### 指導者（陸上競技）

まだまだ始まったばかりでわからない事ばかりです。  
自分も勉強しながら子供たちと学んでいきたいと思います。

##### 指導者（女子ソフトテニス）

活動時間の長さ：準備入れて3.5時間ほどかかる。  
欠席の連絡が遅くなりがち。  
指導者をもう少し増やしたい。

小美玉市地域クラブ活動実施状況に関するアンケート（実施期間：令和6年8月）の結果抜粋

### アンケート結果・広報資料

#### 1. アンケート調査の概要

##### ◆地域クラブ活動実施状況に関するアンケート

- 調査の目的 休日の部活動の地域クラブ活動の実施状況調査を行い、地域の実情に応じた多様な地域クラブ活動のモデルの構築等を進めていく上での参考資料とする。
- 調査期間 令和6年8月
- 調査対象 休日の地域クラブ活動（種目：男子卓球、女子ソフトテニス、剣道、陸上競技）
- 調査方法 紙アンケート
- 調査対象及び有効回答

対 象	対象数	回答数	回答率
地域クラブ活動の参加者（中学校1～2年生、義務教育学校後期課程7～8年生）	56	45	80.4%
地域クラブ活動の指導者	14	6	42.9%

##### ◆中学部活動に関する事前アンケート

- 調査の目的 中学校、義務教育学校後期課程の休日部活動の地域移行及び部活動に関する意識調査を行い、今後の学校部活動の地域移行を進めていく上での参考資料とする。
- 調査期間 令和6年9月
- 調査対象 市内小学校（5校）、義務教育学校（2校）
- 調査方法 Webアンケート
- 調査対象及び有効回答

対 象	対象数	回答数	回答率
小学校6年生、義務教育学校前期課程6年生	364	325	89.3%

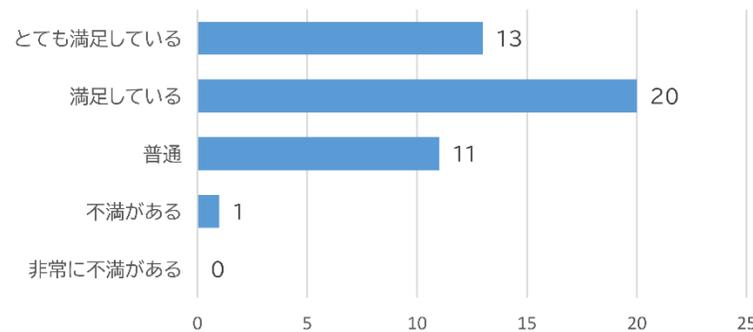
## アンケート結果・広報資料

### 2. アンケート結果

令和6年度 地域クラブ活動実施状況に関するアンケート結果 対象:地域クラブ活動の参加者【R6.8月実施】

#### ①活動の満足度

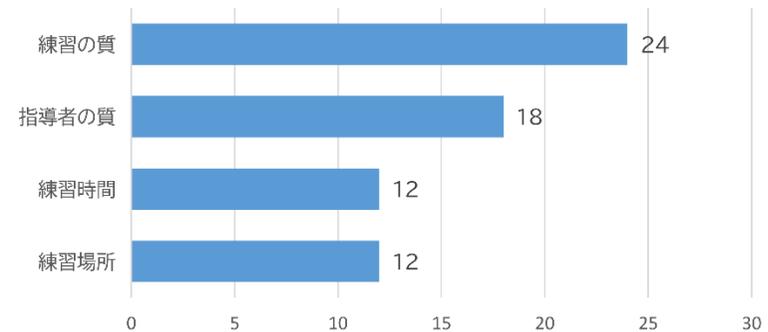
45人の回答



「とても満足している」「満足している」と回答した方にお聞きします。

#### ②どのような点に満足していますか？ ※複数回答可

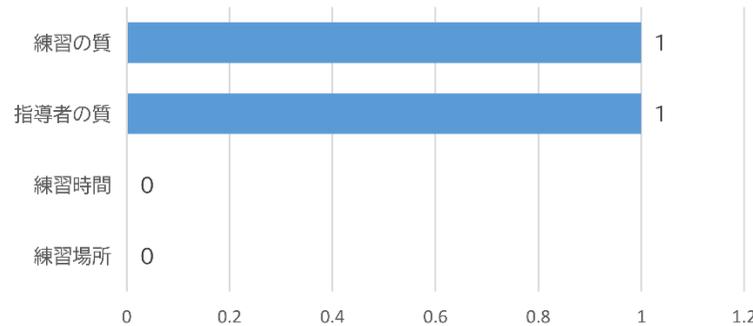
33人の回答



「不満がある」「非常に不満がある」と回答した方にお聞きします。

#### ③どのような点に不満を持っていますか ※複数回答可

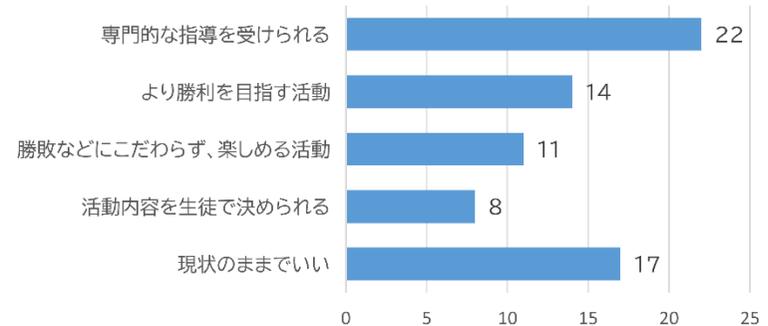
1人の回答



#### ④地域クラブ活動にはどのような指導や活動内容を求めていますか？

※複数回答可

43人の回答



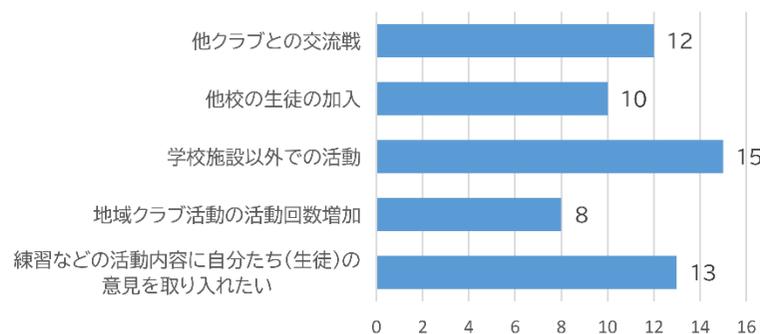
出典:小美玉市教育委員会スポーツ推進課

### アンケート結果・広報資料

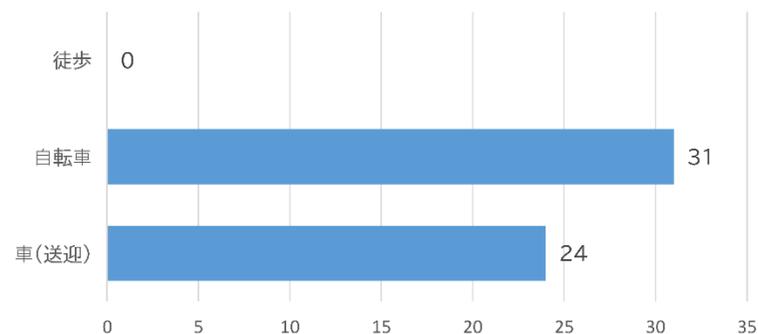
## 2. アンケート結果

令和6年度 地域クラブ活動実施状況に関するアンケート結果 対象:地域クラブ活動の参加者【R6.8月実施】

⑤今後さらにあったらいいと思うものを教えてください ※複数回答可  
42人の回答



⑥地域クラブ活動に何で通っていますか？  
44人の回答



⑦その他、ご意見ご要望ご感想などお聞かせください  
4人の回答

- ・もう少し涼しくなるようにしてほしい(練習会場・時間)
- ・専門の練習を増やしてほしい
- ・もう少しだけ練習時間を増やしてほしい
- ・指導者の方が来てくれてとても詳しく教えてくれて嬉しい。  
先輩がたくさんのことを教えてくれて嬉しい。

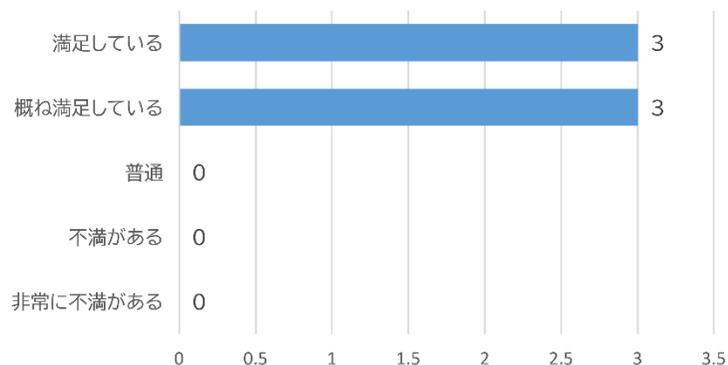
出典:小美玉市教育委員会スポーツ推進課

## アンケート結果・広報資料

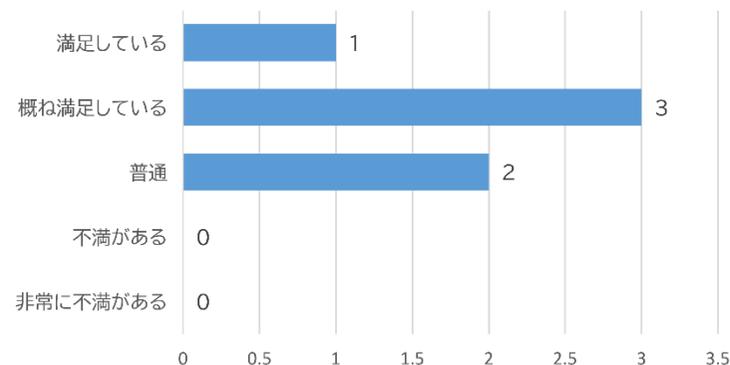
### 2. アンケート結果

令和6年度 地域クラブ活動実施状況に関するアンケート結果\_対象:地域クラブ活動の指導者【R6.8月実施】

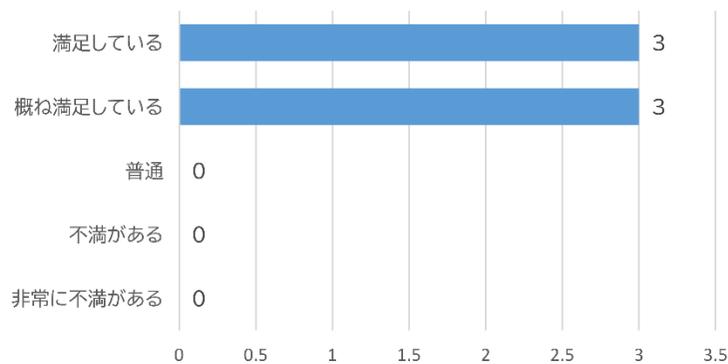
①活動について  
6人の回答



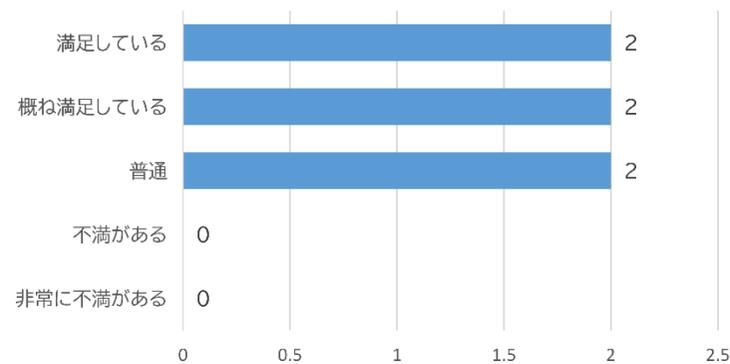
②活動頻度について  
6人の回答



③活動時間の長さについて  
6人の回答



④連絡体制について  
6人の回答



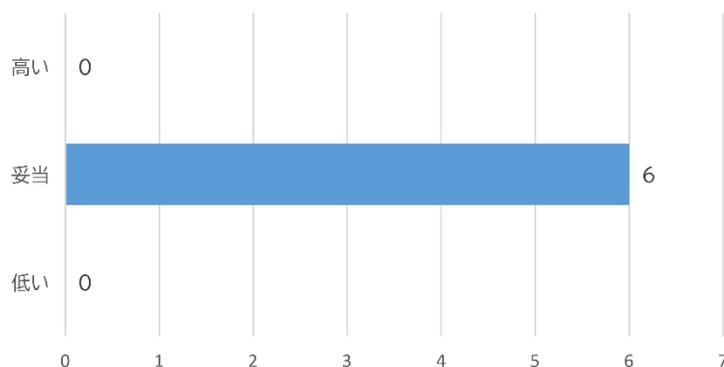
出典:小美玉市教育委員会スポーツ推進課

## アンケート結果・広報資料

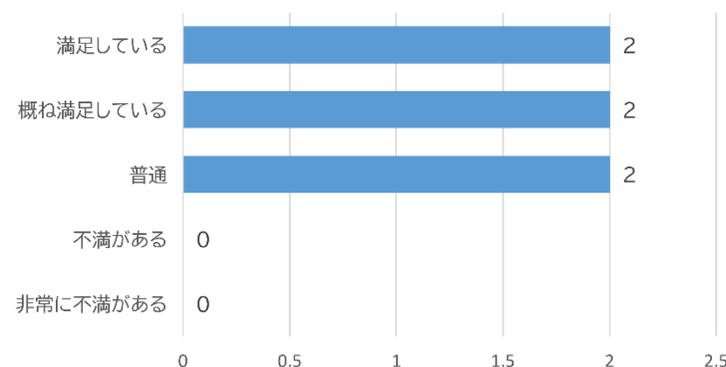
### 2. アンケート結果

令和6年度 地域クラブ活動実施状況に関するアンケート結果\_対象:地域クラブ活動の指導者【R6.8月実施】

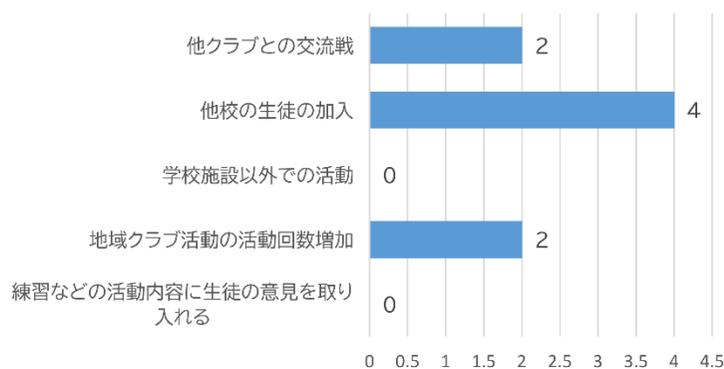
⑤謝金額について  
6人の回答



⑥会場の備品について  
6人の回答



⑦今後さらにあっという間と思うものを教えてください ※複数回答可  
6人の回答



⑦その他、ご意見ご要望ご感想などお聞かせください  
3人の回答

- ・まだまだ始まったばかりでわからない事ばかりです。自分も勉強しながら子供たちと学んでいきたいと思えます。
- ・理想の活動回数:週2~3回
- ・活動時間の長さ:準備入れて3.5時間ほどかかる。欠席の連絡が遅くなりがち。指導者をもう少し増やしたい。

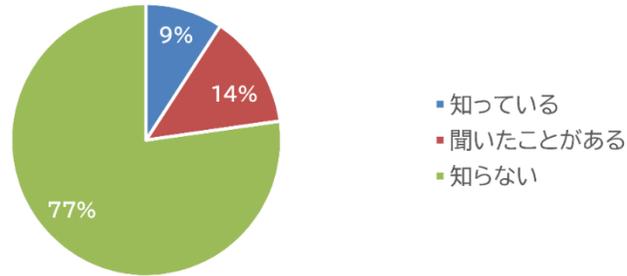
出典:小美玉市教育委員会スポーツ推進課

## アンケート結果・広報資料

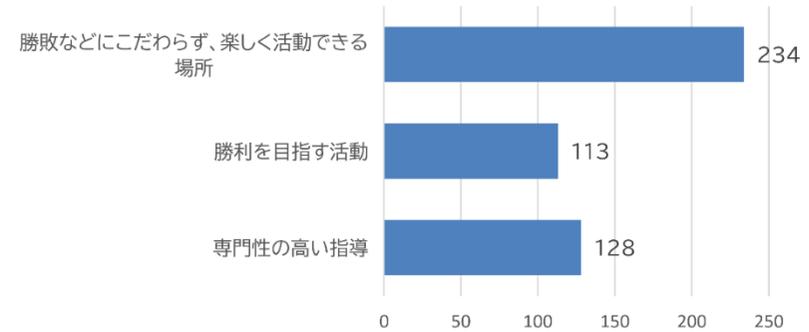
### 2. アンケート結果

#### 令和6年度小学校6年生対象 中学部活動に関する事前アンケート【R6.9月実施】

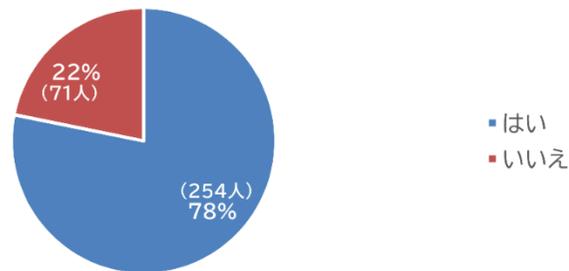
①現在スポーツ庁および文化庁が主導となって部活動を地域(民間)へ移行する動きが広まっているのを知っていますか？  
325人の回答



②部活動が地域(民間)へと移行した場合、移行した先の活動や指導者には何を求めていますか？ ※複数回答可  
325人の回答

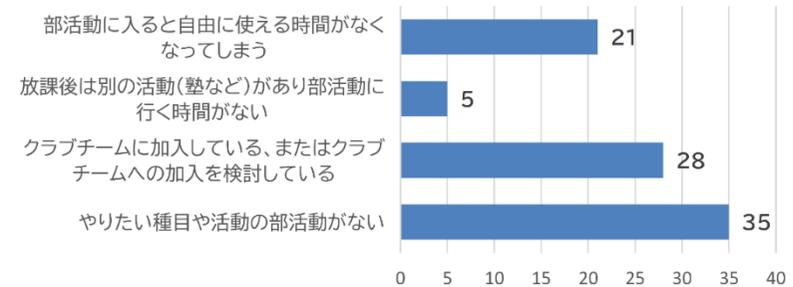


③現在、中学校または義務教育学校後期課程で部活動への入部を考えていますか？  
325人の回答



「現在、中学校または義務教育学校後期課程で部活動への入部を考えていますか？」で『いいえ』と答えた方

④部活動に入らない理由をお聞かせください ※複数回答可  
71人の回答



出典:小美玉市教育委員会スポーツ推進課

## アンケート結果・広報資料

市内小学校及び中学校・義務教育学校の児童・生徒に、「休日の学校部活動の現状と今後についてお知らせするチラシ」を配布して、保護者を始め、まだ地域クラブ活動に関わっていない方々にも、本市における休日の

部活動の地域移行に向けた取組状況について、認知・周知を広げることができた。

### 休日の学校部活動の現状と今後についてお知らせします



小美玉市教育委員会

小美玉市では、生徒にとって望ましい持続可能な活動環境を整備するため、地域展開に向けた学校部活動の改革を推進しています。

#### 小美玉市の基本方針

- 小美玉市の中学生が大幅に減少する令和9年度に向け、速やかに学校部活動の改革に取り組みます。

令和6年度の小美玉市の中学生は1180人で、市内の生徒数は減少していく見込みです。令和9年度の想定は1035人で、令和6年度と比較すると145人の減少となります。

さらに、令和14年度以降は生徒数が1000人を下回ることが見込まれます。

以上のことから、これまでどおりの学校部活動の運営は難しくなります。

- 地域の実態や生徒のニーズに合わせた、多様な文化・スポーツ環境の構築を目指します。まずは、休日の学校部活動について改革を進めます。

- ・既存の単一校単一チームの学校部活動を積極的に見直します。
- ・実態に応じて、合同チーム※、拠点校※、地域クラブ※へ、段階的に移行し、地域展開していきます。

※合同チーム…部員数が少人数で単独チームで大会参加できない場合、複数校で大会に参加する。(学校主体)

※拠点校…市内一つの学校が他校を受け入れて活動する。(学校主体)

※地域クラブ…社会教育の一環として、地域が主体となって活動する。(地域主体)

- ・令和9年度を目途に受益者負担※による運営を目指します。

※受益者負担…地域クラブの活動に係る運営費(任意保険の加入等)や指導者報酬費等を家庭に負担していただくこと。



(令和6年5月1日現在 小1～中3までの在籍人数及び住民基本台帳から試算)

裏面につづきます▶▶

### 【啓発チラシ(表)】

出典:小美玉市教育委員会教育指導課

#### 国の動向と小美玉市の取組

##### 国の動向

○令和5～7年度 改革推進期間

- ・まずは休日の学校部活動の段階的な地域連携・地域移行を進める

○令和8～10年度 改革実行期間(前期)

- ・休日の地域展開等に着手する

○令和11～13年度 改革実行期間(後期)

- ・平日の改革を推進

「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」中間とりまとめ 令和6年12月18日より

これまで「地域移行」と呼んできたものを「地域展開」と記載する。また、「地域展開」と「地域連携」をまとめて指し示す場合には「地域展開等」と記載する。

##### 市の取組

#### 令和6年度

##### 合同チーム

- 軟式野球
  - ・小川南中、美野里中、玉里学園で1チーム
  - ・小川北義務、大洗一中で1チーム
- サッカー
  - ・小川南中、小川北義務、大洗一中で1チーム

##### 拠点校

- 女子バレーボール
  - ・市で1チーム

##### 地域クラブ

- 実証事業※
  - ・小川南中
  - ・陸上
  - ・美野里中
  - ・男子卓球
  - ・玉里学園
  - ・女子ソフトテニス
  - ・小川北義務

#### 令和7年度

##### 合同チーム

- ・新入部員数等により調整

##### 拠点校

- 女子バレーボール(継続)
  - ・市で1チーム
- 軟式野球(新規) R7総体終了後
  - ・市で1チーム
- 剣道(新規)
  - ・小川南中、玉里学園、小川北義務で1チーム

##### 地域クラブ

##### 実証事業※(継続)

※実証事業…国が定める部活動の地域展開に向けた実証事業。小美玉市では、NPO法人小美玉スポーツクラブに業務委託し、持続可能な体制を検討しています。

上記以外の学校部活動についても、合同チーム、拠点校、地域クラブへ段階的に移行する。

学校	男子のみ				女子のみ			
	野球	サッカー	ソフトボール	ソフトテニス	剣道	陸上競技	柔道	バレーボール
小川南中	○	○	○	○	○	○	○	○
美野里中	○	○	○	○	○	○	○	○
玉里学園	○	○	○	○	○	○	○	○
小川北義務	○	○	○	○	○	○	○	○



令和6年度地域クラブ活動実証事業の様子

問合せ先: 小美玉市教育委員会事務局 教育指導課 TEL:0299-48-1111 内線2234

### 【啓発チラシ(裏)】

出典:小美玉市教育委員会教育指導課

## 2.実証内容と成果④

### 参考資料（活動写真）



【地域クラブ活動：玉里学園義務教育学校 男子卓球】



【地域クラブ活動：小川北義務教育学校 女子ソフトテニス】



【地域クラブ活動：小川南中学校 剣道】



【地域クラブ活動：美野里中学校 陸上競技】

## 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和4年

検討委員会  
設置、  
検討開始

令和5年

運営団体の  
選定、  
対象部活動や  
指導者の選定

学校現場や  
指導者との  
調整

生徒、保護者へ  
の説明

地域クラブ活動  
の開始

令和6年

地域クラブ活動  
の継続、拡大

- ステークホルダー  
市長部局、市教委、学校、  
NPO法人 小美玉スポーツクラブ
- 経過  
務局機能を果たす団体として、  
総合型地域スポーツクラブの  
NPO法人小美玉スポーツクラブと  
連携していく方針を示した。
- 実施にあたって生じた課題  
具体的に、どのように地域移行を  
進めていくのか見通しが立たず、  
方向性が定まらなかった。
- 実施内容、工夫した点 等  
行政、学校、NPO法人 小美玉  
スポーツクラブで、検討委員会を  
開催した。

- ステークホルダー  
市長部局、市教委、学校、  
NPO法人 小美玉スポーツクラブ、競技団体等
- 経過  
運営団体として、NPO法人 小美玉スポーツクラブに  
業務委託した。（総括コーディネーターの配置）  
3年生の部活動引退後に、各校1部活動を対象に  
休日の地域クラブ活動へ移行する取組を開始した。
- 実施にあたって生じた課題  
地域クラブ活動を運営する上で必要となる費用負担  
の保護者の理解、指導者の確保等が課題となる。
- 実施内容、工夫した点 等  
各学校とヒアリングを実施し、外部指導者や部活動  
指導員が指導を担当している部活動を選定した。  
地域移行する・しない部活動で不公平感が生じない  
よう、受益者負担は発生しない運営体制で実施した。

- ステークホルダー  
市教委、学校、  
NPO法人 小美玉スポーツクラブ、競技団体等
- 経過  
4月から休日の地域クラブ活動を実施したことで、  
1～3年生の全学年を対象に取組を開始した。
- 実施にあたって生じた課題  
拠点校部活動の種目は、指導者と調整を進  
めたが、地域クラブ活動へ展開ができなかった。
- 実施内容、工夫した点 等  
休日の学校部活動に関するチラシを配布し、  
保護者や地域クラブ活動に関わっていない方々  
にも、認知・周知することができた。  
地域クラブ活動の指導者と意見交換を進め、  
令和7年度から拠点校部活動に移行し、他の  
学校からも生徒が参加できるかたちを整えた。

# 3. 今後の方向性

## 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

### 小美玉市 部活動改革スケジュール (案)

	2023年度 (R5年度)	2024年度 (R6年度)	2025年度 (R7年度)	2026年度 (R8年度)	2027年度 (R9年度)
小美玉市教育委員会 教育指導課	平日の運動部活動は現状どおり継続し、令和8年度までの休日部活動を見直す				<b>目指す姿</b> ○生徒にとって望ましい持続可能な活動環境を整備 ○地域の実態や生徒のニーズに合わせた、多様な文化・スポーツ環境の構築
	<b>休日部活動の地域展開 準備期間</b> <b>休日の部活動は、段階的に地域へ展開</b> ○部活動運営方針の改訂 ○教員の兼職兼業の制度設計、地域で活動できる体制づくり ○教員・保護者への周知 ○中体連大会に参加する地域クラブ活動の参加資格の調整等				
小美玉市教育委員会 スポーツ推進課	<b>休日部活動の完全地域展開を目指した地域クラブ活動の運営体制づくりを支援</b> 卓球、ソフトテニス、剣道、陸上競技				
	バレーボール 地域クラブ活動の拡大 休日の部活動の地域クラブ化を促進、新たな課題への対応等				
NPO法人 小美玉スポーツクラブ	モデルケースの実証				
	新たなモデルケースの実証				
	既存事業の安定化を図る（指導者の確保、運営体制の整備等）				
	・単独事業化した際の費用負担（受益者負担）の試算、検証 ・モデルケース（地域クラブ活動）拡大の検討、試算				

令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 茨城県 茨城町

自治体名：茨城県東茨城郡茨城町教育委員会

担当課名：学校教育課

電話番号：029-240-7121

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

面積	122 km <sup>2</sup>
人口	30,523 人
公立中学校数	2 校
公立中学校生徒数	668 人
部活動数	25 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	令和7年度に策定を予定

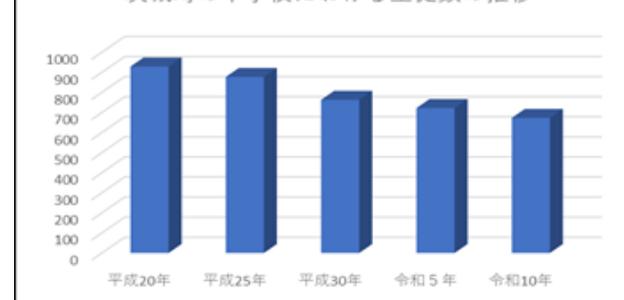
## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

部活動地域移行を推進するため、令和5年1月に「茨城町部活動地域移行検討会議」を立ち上げた。休日におけるサッカー部の活動を地域移行のモデルケースと位置付け、様々な準備を進めた結果、令和5年7月より休日の活動を地域のサッカークラブへ移行するとともに、令和6年度の新人戦より中学校単位ではなくクラブで参加することができた。また、他の部活動については、地域の企業と連携しながら、令和5年度と令和6年度に企業主催の「ソフトテニス教室」を開催した。なお、検討会議を継続的に開催しながら、将来的に「拠点校型」の部活動地域展開を目指していくことが決定した。本町が「拠点校型」の部活動地域展開を目指した大きな理由としては、ここ近年における生徒数の減少（令和5年度：722人 令和10年度予定：673人 令和15年度予定：513人）に対応していかなければならないことと、町内の公立中学校が2校のみなので連携がしやすいということが挙げられる。従来は、部員が維持できずに生徒たちが希望する部活動を廃部や休部にしたケースがあった。持続可能な

状態で今後も提供していくことが、生涯を通して多様なスポーツ・文化芸術活動に親しむ素地を作ることにつながると考えた。

課題としては、「拠点校型」の地域展開における開始時期や具体的な進め方が未定であること、地域クラブの立ち上げや地域クラブを運営する任意団体の設立、指導者となり得る地域人材の発掘などが挙げられる。男子バスケットボールや剣道など、既に単独でチームを編成することが困難な部活動もあり、町内や近隣の中学校と拠点校チームを編成して大会へ参加をしている現状なので、「地域の子供は地域で育てる」という理念の実現に向け、部活動の地域展開を持続可能にする取組を加速させたい。

茨城町の中学校における生徒数の推移

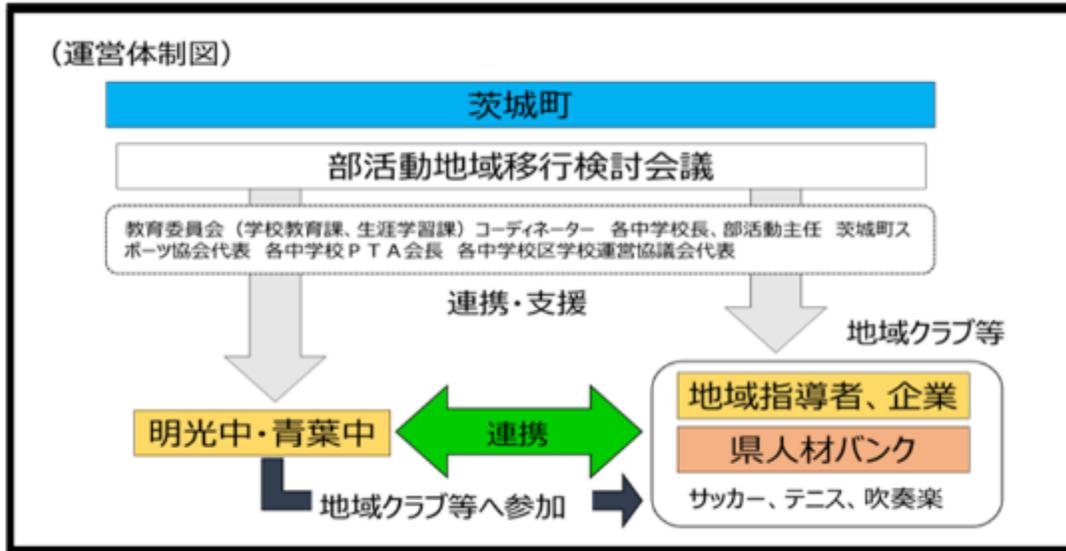


※茨城町住民基本台帳に基づいて独自作成

## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



#### ●行政組織内での役割分担

##### ◎教育委員会

- ・部活動地域展開検討会議の開催
- ・地域人材との連携
- ・人材バンクの管理
- ・学校と地域クラブとの連携強化
- ・町公共施設の利用に伴う調整

##### ◎首長部局

- ・地域クラブの運営を担う任意団体設立に向けた財源確保の調整
- ・受益者負担システム及び指導者への謝金支払システム構築に向けた調整
- ・部活動の地域展開に関する地域への広報活動

### 年間の事業スケジュール

期日	内容
令和6年4月	・地域クラブにおける保護者説明会 ・茨城県中体連への登録申請（サッカー）
令和6年5月	・コーディネーターとの打合せ
令和6年6月	・第1回茨城町部活動地域移行検討会議
令和6年7月	・コーディネーターとの打合せ ・茨城県中体連への追加登録申請（サッカー） ・企業と連携したソフトテニス教室①
令和6年8月	・部活動地域移行実務者会議①
令和6年9月	・部活動地域移行先進地域視察（土浦市） ・コーディネーターとの打合せ ・企業と連携したソフトテニス教室②
令和6年10月	・第2回茨城町部活動地域移行検討会議 ・企業と連携したソフトテニス教室③
令和6年11月	・部活動地域移行先進地域視察（神栖市） ・部活動地域移行実務者会議② ・企業と連携したソフトテニス教室④
令和6年12月	・コーディネーターとの打合せ ・企業と連携したソフトテニス教室⑤
令和7年1月	・第3回茨城町部活動地域移行検討会議
令和7年2月	・コーディネーターとの打合せ
令和7年3月	・第4回茨城町部活動地域移行検討会議

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

中学校数	2校	実施した地域クラブ総数	2クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		2クラブ（3部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導者数	サッカー14人、ソフトテニス平均5人/回	全体の運営スタッフ数	サッカー2人、ソフトテニス3人

#### ②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
茨城町FC ジュニア ユース	地域のクラブチーム	サッカー	月8回程度	午前または午後 の3時間	1年生部員 2年生部員 3年生部員	4月から 3月まで	町運動公園及び町内両中学校	14人	2人	年会費 12,000円	地域クラブ
トヨタモビリティ ティーパーツ ソフトテニス 教室	企業	ソフトテニス	月1回程度	午前または午後 の3時間	1年生部員 2年生部員	7月から 12月まで	町運動公園	平均 5人/回	3人	無料	部活動

#### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

- ソフトテニス教室の最終回（12月7日に実施した第5回）では、「テニスフェス」と称したミニ大会を開催した。

## 2.実証内容と成果

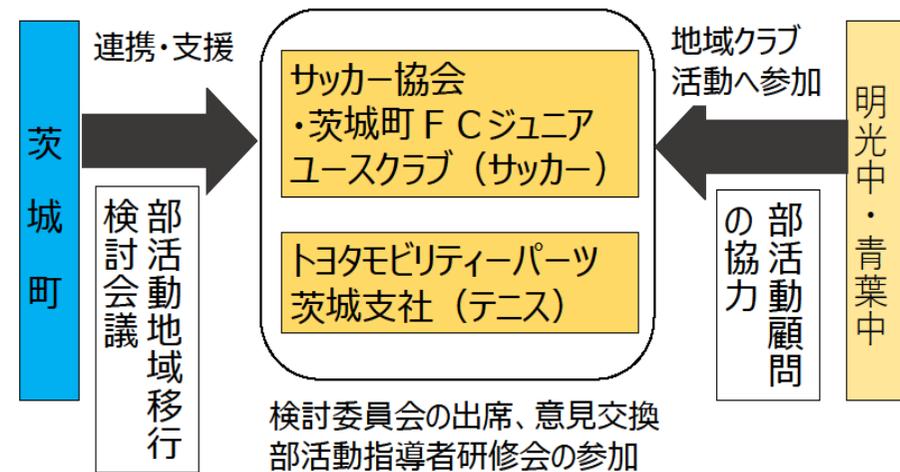
### 主な取組例

#### ●茨城町地域クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	サッカー ソフトテニス
運営団体名	サッカー：茨城町FCジュニアユース ソフトテニス：(株)トヨタモビリティパーツ 茨城支社
期間と日数	サッカー：4月から3月まで月8回程度 ソフトテニス：7月から12月まで月1回程度
指導者の主な属性	サッカー：サッカー少年団の指導者 ソフトテニス：テニス経験のある社員
活動場所	サッカー：町運動公園及び町内両中学校 ソフトテニス：町運動公園
主な移動手段	自転車及び徒歩、保護者による送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	サッカー：年会費12,000円 ソフトテニス：無料
1人あたりの保険料	800円/年

#### ●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）

（運営体制図）



#### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 統括責任者 1名  
役割：コーディネーター及び両中学校顧問を活動日時の調整を行う。
- 主任指導者 3名  
役割：活動における主任者として、生徒への指導を行う
- 運営補助者  
役割：活動において、主任指導者の補助として、指導を行う

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

- 「茨城町部活動地域移行検討会議」を定期的を開催して、部活動地域移行に関する様々な課題を継続的に協議する。
- サッカークラブの代表者を検討会議の委員に委嘱し、クラブ運営に伴う現状と課題を把握する。
- 部活動地域移行の先進地域を視察して、地域クラブの設立に至る経緯や地域クラブの運営に係る課題を聞き取る。

##### 取組の成果

- 「茨城町部活動地域移行検討会議」では、予算の獲得や指導者の確保が難しいことなど、本町における地域移行の諸課題について継続的に協議しながら、検討委員の皆様と連携することができた。
- 町内両中学校のPTA会長と学校運営協議会代表を検討会議のメンバーに位置付けたことで、家庭や地域の声を拾い上げることができた。
- サッカークラブの代表者を検討会議の委員に委嘱したことで、クラブ内における資金のやりくりや大会に参加するための移手段など様々な課題を検討会議で適宜共有することができた。
- 9月に土浦市教育委員会、11月に神栖市教育委員会を視察したことで、地域クラブの設立に至る経緯や苦勞、地域クラブの運営に係る資金面や人材確保の苦勞など、今後の本町における地域クラブの運営を担う任意団体の設立に係る諸準備に活かすことができた。

##### コーディネーターの具体的な動きの実績

- 支援コーディネーター
  - ・部活動地域移行検討会議への参加
  - ・部活動地域移行先進地域の視察に同行
  - ・町教育委員会統括責任者との定期的な打合せ

##### 今後の課題と対応方針

- ・令和8年度からの本格運用を目指し、地域クラブの運営を担う任意団体における人材など体制を整備する。
- ・コーディネート業務を担う人材の発掘・育成、資質向上を図る方策の検討を行う。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

##### 取組事項

○町独自の人材バンクを立ち上げる計画であったが、地域クラブの運営を担う任意団体設立に係る資金や指導者への謝金といった財源を確保することができなかったため、町独自の人材バンクを立ち上げることができなかった。そのため、町主催の指導者講習会も開催できなかった。

##### 人材バンクの人数

0名

##### 人材バンクの年齢構成

10代	0名
20代	0名
30代	0名
40代	0名
50代	0名
60代以上	0名

##### 登録者属性

・人材バンクを立ち上げられなかったため、記載事項なし

##### 種目

・人材バンクを立ち上げられなかったため、記載事項なし

##### 資格有無

・人材バンクを立ち上げられなかったため、記載事項なし

##### 取組の成果

・アプリ等を活用したことにより、平日と休日の練習内容や生徒たちの取組状況などを共有するなど、平日と休日の指導者間で連携を深めることができた。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

##### 取組事項

○町スポーツ推進委員との連携を図る。

○地域移行したサッカークラブが中体連の大会に参加する際、両中学校が民間のバスを手配するなどして移動手段を確保する。

##### 取組の成果

○町スポーツ推進委員長を、部活動地域移行検討会議の委員に委嘱したことで、今後の連携を視野に入れた人材を紹介していただいた。

○中体連主催の新人体育大会では、バスに同乗して会場へ引率することや現地での安全看護を顧問が務め、試合中の指導や審判などの役員をクラブ指導者が務めるなど、役割分担を明確にして円滑に連携することができた。

#### バス等の運行実績

・日数 計 19日

・利用者数 計 48人

・運行経路

両中学校 ⇔ 大会会場

※大会：支部大会・地区大会・県大会

#### バス等の運航経費・収入

・人件費

0円

・利用料

計 1,091,510円

#### 今後の課題と対応方針

○次年度以降も町スポーツ推進委員長を部活動地域移行検討会議の委員に委嘱することで、幅広い種目の指導者となり得る人材を発掘していく。

○将来的な「拠点校型」の部活動地域展開を目指し、今後は両中学校における全ての運動部による合同練習会を定期開催する。

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

**オ：内容の充実**  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



## 取組内容

### ●取組項目名 オ：内容の充実①

#### 取組事項

・生徒の志向や体力等の状況に適したスポーツに親しむ機会の確保に取り組む。

活動の詳細			
参加人数	サッカー 48人 ソフトテニス 平均約40人/回	指導者数	サッカー 14人 ソフトテニス 平均 5人/回
属性	サッカー：地域のサッカークラブ ソフトテニス：企業との連携		
具体的な内容	サッカー ・トップチームへの指導を重点化するのではなく各チームに応じた指導と実戦機会を確保する。 ソフトテニス ・テニス教室では「上級クラス」と「初級クラス」を各自が選択して受講できるようにする。		
子供の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>● サッカー                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・県でベスト8に慣れて嬉しかった。</li> </ul> </li> <li>● ソフトテニス                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・テニス教室が毎回楽しみだった。</li> </ul> </li> </ul>		
関係者の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>● サッカー                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・大会で好成績を収めたことだけでなく、選手や保護者から不満の声が挙がっていないのが指導者として嬉しい。</li> </ul> </li> <li>● ソフトテニス                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「テニスフェス」では、新入社員を中心に運営したことで、自ら考えて動くことの大切さを実感した。また、生徒との交流を通じて、人に楽しんでいただく喜びも実感した。</li> </ul> </li> </ul>		
運営経費	0円		

#### 5 成果・課題

##### (成果)

- ・生徒たちが積極的に審判など試合運営に参加し、自主性を促すことが出来た
- ・生徒たちがフェスを楽しんでいただくことを意識することで臨機応変に的当ての設営や運営、景品の対応を行うことが出来た

##### (課題)

- ・生徒に審判を行ってもらう際のスコア票が無く、書き方がバラバラになってしまい、集計の遅延、ミスが発生してしまった
- ・生徒向けの情報伝達不足があった為、しおりやポスターを作成する
- ・リーグ票の見方が確立されておらず、確認する人によって見方が変わってしまい、記入ミスがあった
- ・ペアが組めなかった生徒と大人が組んでしまった為、他チームとの実力差が生まれてしまった。公平に行う為試合の重ならない他ペアから人を借りて生徒だけの試合を確立する



(参加者との集合写真)

出典：(株)トヨタモビリティパーツ茨城支作成「テニスフェスレポート」

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 オ：内容の充実②

##### 取組の成果

- 茨城町FCジュニアユースとして参加した新人体育大会では、支部大会（東茨城郡新人体育大会）と地区大会（中央地区新人体育大会）で優勝、県大会でベスト8という好成績を収めた。
- ソフトテニス教室の最終回に実施した「テニスフェス」に参加した中学生29人を対象としたアンケートの結果、回答者の100%が「満足以上」と回答するなど満足度が非常に高いイベントになった。
- 休日に開催したソフトテニス教室には、部活動顧問はほとんど参加しなかったため、働き方改革に寄与することができた。

4

#### アンケート結果

1. テニスフェス全体の満足度  
-29名全員が満足以上と回答
2. 参加した生徒の声
  - ・ペアと一緒に楽しくできた
  - ・色々な学校の人と話せたり、テニスを学べた
  - ・他校の人と戦えたり、関わりが増えた
  - ・シングルス対決の時に1年生と楽しくできた
  - ・テニス教室が毎月楽しみでした
  - ・部活以外でも練習できる時間をありがとうございました
  - ・最後に大会ができてよかったです、来年もよろしくお願ひします



※テニスフェスアンケート、青葉中テニス部様メッセージより一部抜粋

出典：(株)トヨタモビリティパーツ茨城支作成「テニスフェスレポート」

#### 今後の課題と対応方針

- ・ソフトテニス教室の実施回数を増やすことで、休日における顧問の活動時間を減らしていく。
- ・サッカー以外の運動部活動は地域移行が進んでいない状態なので、地域クラブ化を早期に実現させる。
- ・将来的な「拠点校型」の部活動地域展開を目指し、今後も両中学校の運動部による合同練習会を定期的開催していく。そのためには、地域クラブの運営を担う任意団体の立ち上げなど地域クラブ設立に向けた準備を、町教育委員会や首長部局が連携して進めることが必須となる。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

○地域クラブ活動を実施する際の利用ルールを策定することを計画していたが、サッカー及びソフトテニスには町運動公園を使用したため利用ルールを策定する必要がなかった。

##### 取組の成果

○町の運動施設等を管理する町教育委員会生涯学習課と連携したことで、利用申請や減免措置を円滑に進めることができた。

##### 今後の課題と対応方針

○町運動公園は定期的に芝生を養生することが必要となり、その期間は両中学校のグラウンドを使用している。そのため、他の部活動との調整や備品の使用等に関するルールを明確に決めていきたい。

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

○実証事業2年目の取組を振り返ると、昨年度から前進したのが、休日の活動に移行したサッカーのクラブが中体連主催の新人体育大会に参加を果たしたこと、企業と連携したソフトテニス教室の最終回で「テニスフェス」と称したミニ大会を初めて実施したことである。しかし、サッカー以外の運動部活動は依然として地域移行が進んでいない状態である。

○9月に土浦市教育委員会、11月に神栖市教育委員会を視察したことで、地域クラブの設立に至る経緯や苦勞、地域クラブの運営に係る資金面や人材確保の苦勞など、今後の本町における地域クラブの運営を担う任意団体の設立に係る諸準備に活かすことができた。

#### ●成果の評価

○茨城町FCジュニアユースとして参加した新人体育大会では、支部大会（東茨城郡新人体育大会）と地区大会（中央地区新人体育大会）で優勝、県大会でベスト8という好成績を収めた。これまでは中学校単位で参加していたので、試合への出場機会は減少してしまっていたが、トップチームを全力で応援する姿が見られたと、顧問やクラブ代表から報告を受けた。これは、クラブと両中学校との連携や、クラブ内で各チームに応じた練習メニューを設定したり、実戦の機会を確保したりするなどの取組によるもので、部活動地域移行に伴う新たな成果と考えている。

○ソフトテニス教室の最終回（12月7日）に実施した「テニスフェス」に参加した中学生29人を対象としたアンケートの結果、回答者の100%が「満足以上」と回答するなど、満足度が非常に高いイベントになった。また、毎月のソフトテニス教室を楽しみにしている声も寄せられており、参加した中学生にとってソフトテニス教室が毎回、質の高い内容を提供していたといえる。

○休日に開催したソフトテニス教室には、部活動顧問はほとんど参加しなかったため、働き方改革に寄与することができた。

#### ●今後に向けて

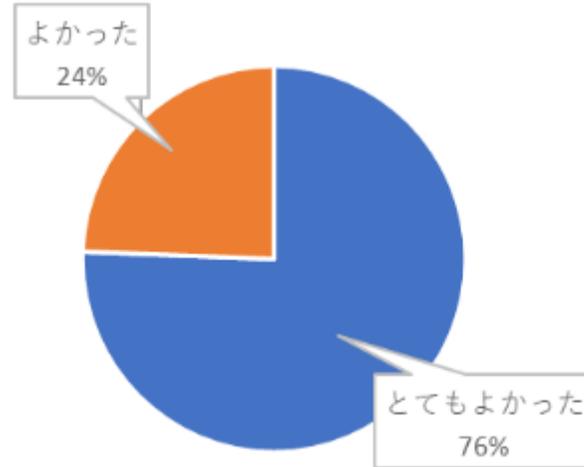
○将来的な「拠点校型」の部活動地域展開を目指し、今後は両中学校の運動部による合同練習会を定期的に開催していく。そのためには、地域クラブの運営を担う任意団体の立ち上げなど地域クラブ設立に向けた準備を、町教育委員会や首長部局が連携して進めることが必須となる。

○部活動地域移行先進地域を視察して得ることができた成果を活かし、本町の地域クラブ化に向けた方向性を検討会議で明確に示していきたい。

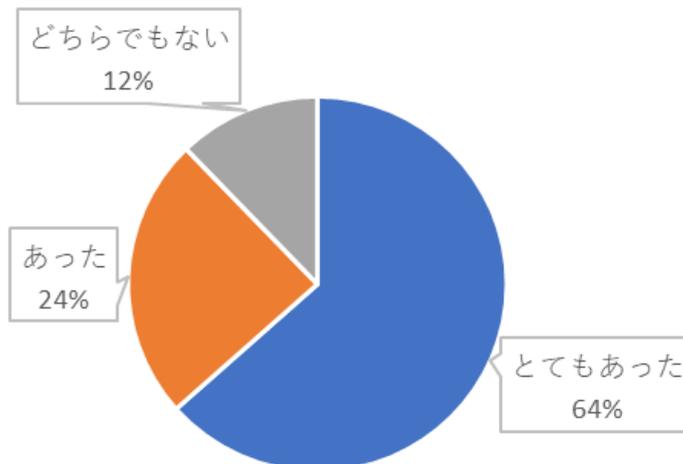
### アンケート結果・参加者の声

#### ●ソフトテニス教室に参加した中学生を対象に行ったアンケート結果

Q.テニス教室はどうだったか？



Q.テニス教室で何か学びはあったか？



#### ●参加者の声

##### 中学1年生（ソフトテニス教室）

- ・バックが苦手で、学校でも迷っていたけど、できない理由が分かって、バックができるようになった。
- ・3種類(ロブ、チャンスボール、クロス)の打ち方を使い分けながら打つことができた。

##### 中学2年生（ソフトテニス教室）

- ・サーブを打ってからレシーブが返ってきたときに、どっちに打てば良いのかわかったのでとてもよかった。
- ・実戦で使えるような練習をすることができてとてもよかった。

##### 指導者（ソフトテニス教室）

- ・「テニスフェス」では、新入社員を中心に運営したことで、自ら考えて動くことの大切さを実感した。
- ・生徒との交流を通じて、人に楽しんでいただく喜びも実感することができた。

##### 指導者（茨城町FCジュニアユース）

- ・大会で好成績を収めたことだけでなく、選手や保護者から不満の声が挙がっていないのが指導者として嬉しい。
- ・試合に出ているメンバーを、クラブ全体で応援する姿が見られ、地域移行の受け皿としてこれまでやってきてよかったと思った。

## アンケート結果・広報資料

○企業（株式会社トヨタモビリティパーツ茨城支社）と連携したソフトテニス教室では、毎回、両中学校の生徒向けに、チラシを作成して下さった。送迎に来た一部の保護者も見学するなど、関心が高まっていたようだった。

○ソフトテニス教室の最終回に実施した「テニスフェス」に参加した中学生29人を対象としたアンケートの結果、回答者の100%が「満足以上」と回答するなど満足度が非常に高いイベントになった。



【生徒への参加啓発チラシ】

出典：(株)トヨタモビリティパーツ茨城支社作成「テニスフェス」の周知チラシ

### 4 アンケート結果

1. テニスフェス全体の満足度  
-29名全員が満足以上と回答

2. 参加した生徒の声

- ・ペアと一緒に楽しくできた
- ・色々な学校の人と話せたり、テニスを学べた
- ・他校の人と戦えたり、関わりが増えた
- ・シングルス対決の時に1年生と楽しくできた
- ・テニス教室が毎月楽しみでした
- ・部活以外でも練習できる時間をありがとうございました
- ・最後に大会ができてよかったです、来年もよろしくお願ひします





※テニスフェスアンケート、青葉中テニス部様メッセージより一部抜粋

【アンケート結果】

出典：(株)トヨタモビリティパーツ茨城支社作成「テニスフェスレポート」

## 2.実証内容と成果④

### 参考資料（活動写真）



【企業と連携したソフトテニス教室における開会行事の様子】



【中央地区新人体育大会で優勝した茨城町FCジュニアユース】



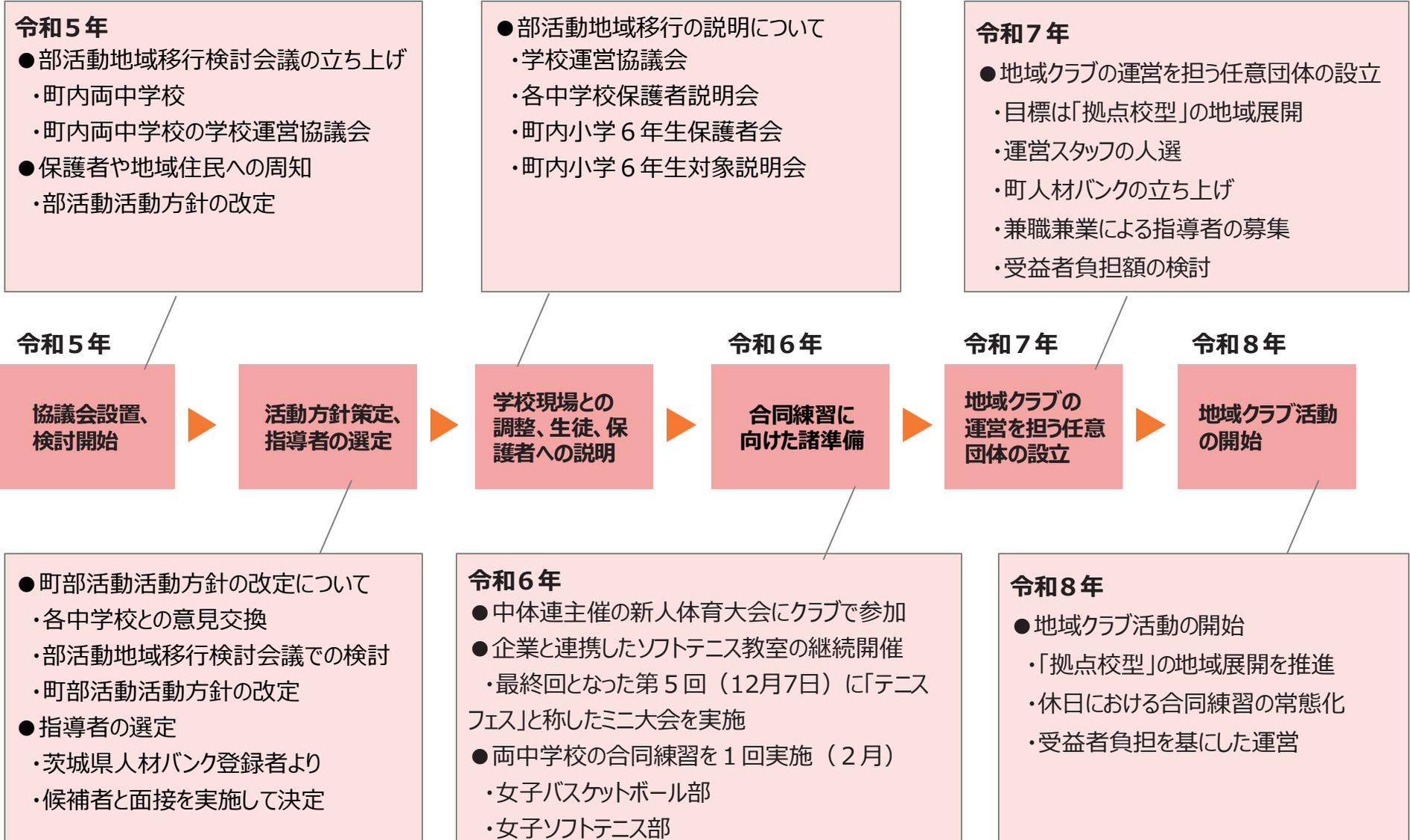
【企業と連携したソフトテニス教室における初級コースの様子】



【テニスフェスにおける表彰式の様子】

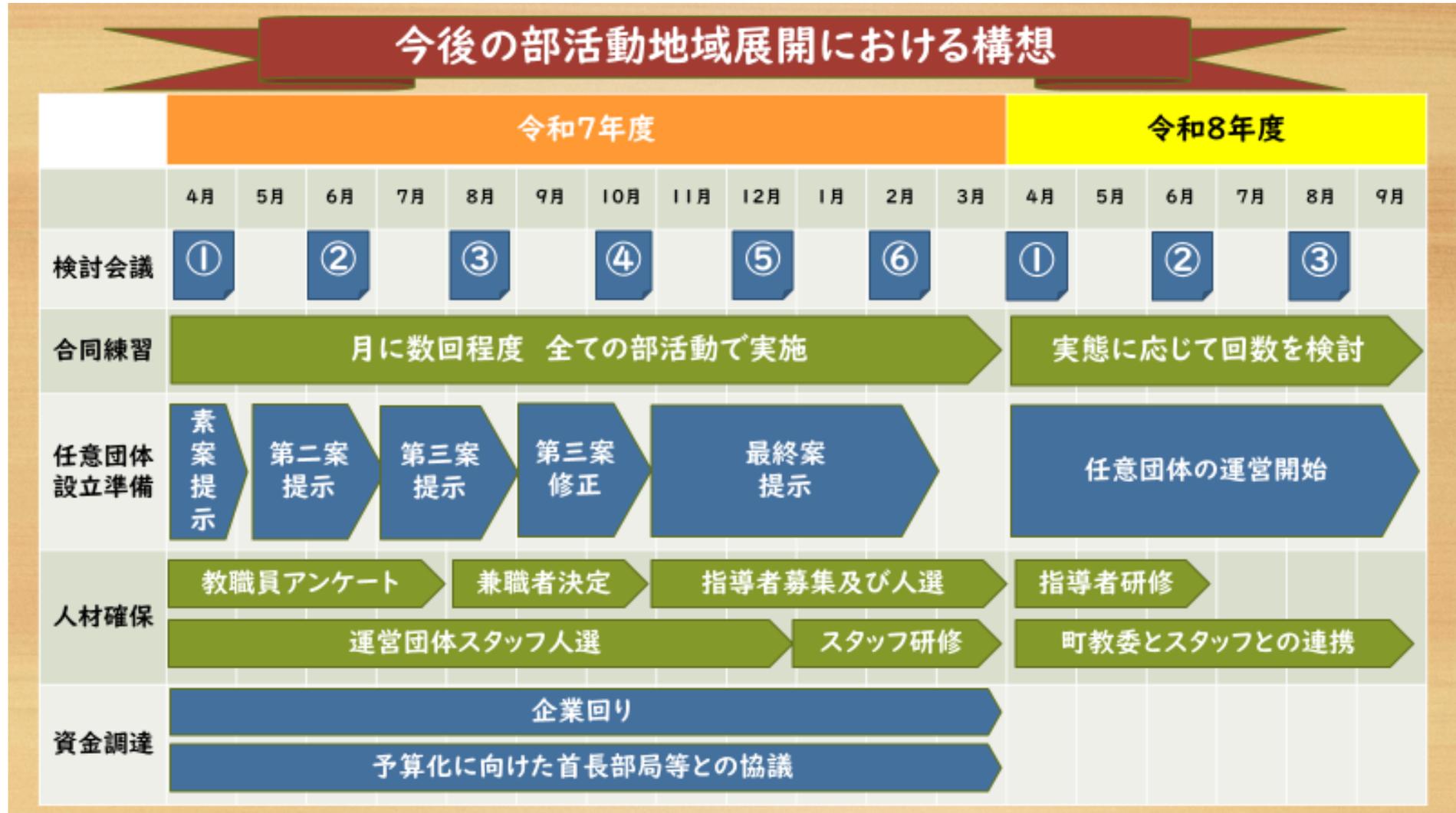
## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



# 3. 今後の方向性

## 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ



令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 茨城県 城里町

自治体名 : 茨城県城里町

担当課名 : 教育委員会事務局

電話番号 : 029-288-3135

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

面積	総面積161.8 km <sup>2</sup>
人口	17,911 人
公立中学校数	2 校
公立中学校生徒数	351 人
部活動数	15 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

### 部活動地域移行の現状と課題

城里町では、「城里町地域クラブ活動推進協議会」を令和4年3月に策定し、令和5年度から令和7年度までの3年間で改革推進期間と定め、地域移行可能な休日の部活動から段階的に地域移行を行っている。

運営主体となる地域クラブについては、町からの業務委託により城里町スポーツ協会が運営しているが、地域移行を進めるうえで、質・量ともに十分な指導者の確保が大きな課題となっている。

### 各学校の生徒数

令和6年5月1日現在

常北中	1年生		2年生		3年生		計
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	
	45	38	40	43	62	42	270

桂中	1年生		2年生		3年生		計
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	
	14	12	16	11	16	12	81

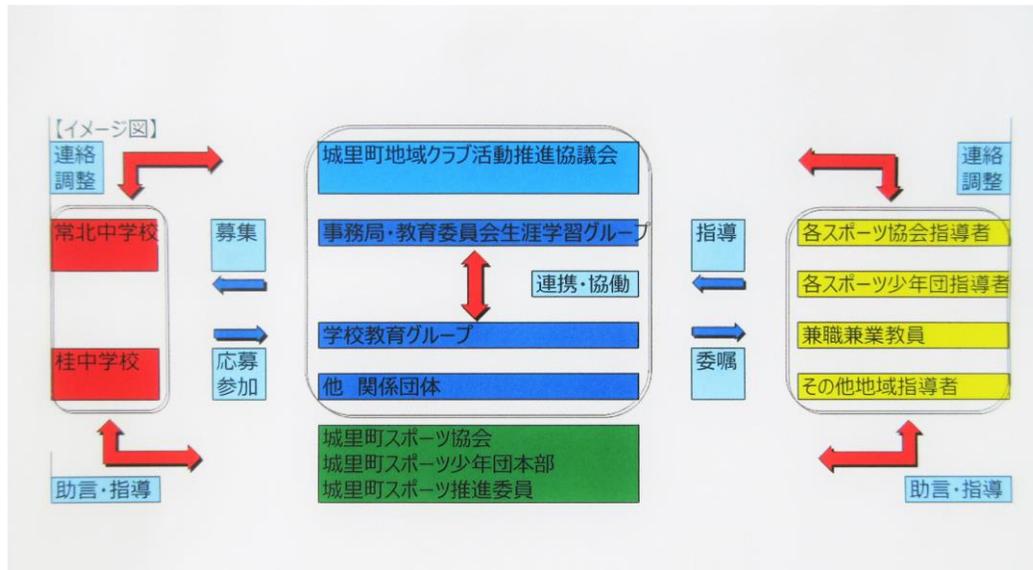
### 各学校毎の部活動種目・部員数

学校名	部活動名	部員数(1~2年生)		学校名	部活動名	部員数(1~2年生)	
		男子	女子			男子	女子
常北中	野球	8	2	桂中	野球(拠点校)	2	0
	サッカー	13	0		サッカー	17	0
	男子バスケット	19	0		バスケット	0	5
	女子バスケット	0	14		ソフトテニス	0	7
	男子ソフトテニス	15	0		剣道(拠点校)	1	1
	女子ソフトテニス	0	25		男子卓球	4	0
	剣道	8	3		女子卓球	0	3
	男子卓球	9	0				
女子卓球	0	19					

## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



#### ●行政組織内での役割分担

##### ◎教育委員会

- ・生涯学習グループ・・・事務局 部活動地域移行の主幹
- ・学校教育グループ・・・学校教員との調整・連携

##### ◎首長部局

- ・財務課・・・予算措置

### 年間の事業スケジュール

令和6年4月	サッカークラブ活動開始
令和6年6月～	各クラブ指導者意見交換会
令和6年7月～	各クラブ保護者説明会
令和6年10月	女子バスケクラブ活動開始
令和6年10月	男子バスケクラブ活動開始
令和6年11月	ソフトテニスクラブ活動開始
令和6年12月	第1回推進協議会開催
令和7年2月	剣道クラブ活動開始
令和7年3月	第2回推進協議会開催

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

中学校数	2校	実施した地域クラブ総数	6クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		6クラブ（9部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導者数	30人	全体の運営スタッフ数	5人

#### ②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
城里町地域クラブ サッカークラブ	スポーツ協会	サッカー	月2回程度	8:30～11:30	12人(1年) 17人(2年) 4人(3年)	R6.4～ R7.3	桂中学校 グラウンド他	10人	1人 (内、兼務0人)	年会費0円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
城里町地域クラブ 女子バスケットボールクラブ	スポーツ協会	バスケットボール	月2回程度	8:30～11:30	3人(1年) 11人(2年)	R6.10～ R7.3	常北中体育館他	6人	1人 (内、兼務0人)	年会費0円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
城里町地域クラブ 男子バスケットボールクラブ	スポーツ協会	バスケットボール	月1回程度	8:30～11:30	7人(1年) 8人(2年)	R6.10～ R7.3	常北中体育館他	3人	1人 (内、兼務0人)	年会費0円	中体連：部活動 その他：地域クラブ

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
城里町地域クラブ 男子ソフトテニスクラブ	スポーツ協会	ソフトテニス	月 2 回程度	9:00～12:00	7人(1年) 4人(2年)	R6.11～ R7.3	常北運動公園テニスコート他	4 人	1 人 (内、兼務 1 人)	年会費 0 円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
城里町地域クラブ 女子ソフトテニスクラブ	スポーツ協会	ソフトテニス	月 2 回程度	9:00～12:00	16人(1年) 10人(2年)	R6.11～ R7.3	常北運動公園テニスコート他	4 人	1 人 (内、兼務 1 人)	年会費 0 円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
城里町地域クラブ 剣道クラブ	スポーツ協会	剣道	月 1 回程度	8:30～11:30	4人(1年) 6人(2年)	R7.2～ R7.3	常北中武道場他	3 人	1 人 (内、兼務 0 人)	年会費 0 円	中体連：部活動 その他：地域クラブ

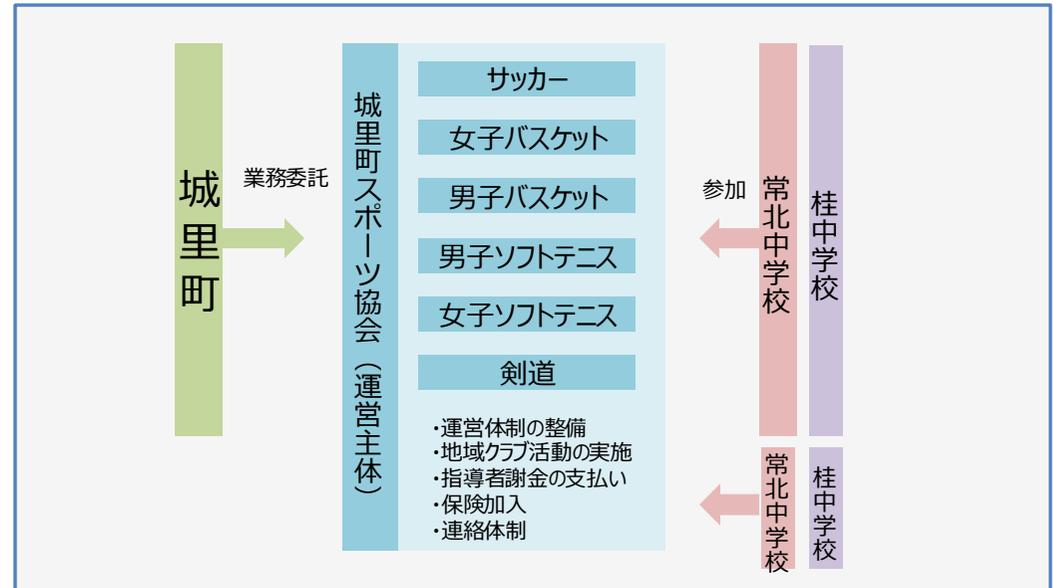
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ● 城里町地域クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	サッカー、女子バスケット、男子バスケット、男子ソフトテニス、女子ソフトテニス、剣道
運営団体名	城里町スポーツ協会
期間と日数	サッカー : R6.4 ~月2回程度 女子バスケット : R6.10~月2回程度 男子バスケット : R6.10~月1回程度 男子ソフトテニス : R6.11~月2回程度 女子ソフトテニス : R6.11~月2回程度 剣道 : R7.2 ~月1回程度
指導者の主な属性	各スポーツ協会連盟指導者 各スポーツ少年団指導者 兼職兼業教員 その他地域指導者
活動場所	常北中学校、桂中学校 常北公民館体育室 等
主な移動手段	自転車、徒歩、保護者送迎
1人あたりの参加会費等(年額)	令和6年度 全種目無料
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり: 800円/年 指導者1人あたり: 1,850円/年

#### ● 運営体制図(地域クラブ活動を実施する際の運営体制図)



#### ● 指導者や運営スタッフなどの役割分担等

##### ● 代表者

役割: クラブを代表する責任者

##### ● 主任指導者 1名

役割: 技術指導をはじめ練習計画の作成など、活動全体指導を行う

##### ● 運営補助者 1名

役割: 活動場所などの連絡調整を行う

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

○城里町スポーツ協会が運営団体となり、中学生を対象に町スポーツ少年団、町スポーツ協会加盟団体等から指導者を確保し、地域スポーツクラブを実施する。

○参加者管理、参加者・指導者への連絡、会場の確保・調整等にICTを活用した。（導入費用：34千円）

##### 取組の成果

○指導者を確保するにあたって、まずは地域のスポーツ少年団及び町スポーツ協会加盟団体の代表（総括コーディネーター）と打合せを行い下記のとおり指導者を確保できた。

町スポーツ少年団指導者 16人

町スポーツ協会加盟団体指導者 9人

○ICTの活用により、連絡、スケジュール、出欠など情報共有が手軽に行える事で、指導者や保護者からも便利な機能であるといった声があった。

##### コーディネーターの具体的な動きの実績

- ・学校、参加者、指導者への連絡調整を実施した
- ・保護者説明会に出席し、保護者からの質問に対応した
- ・地域クラブ活動の課題等のヒアリング・助言等を実施した

##### 今後の課題と対応方針

- コーディネート業務を担う人材の発掘・育成、資質向上を図る方策の検討を行う。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

##### 取組事項

- 質の保証については、指導者に対して、資質向上のための研修を年1回開催する。
- 量の確保については、県の人材バンクや地域のスポーツ団体関係者を通して情報収集し人材確保に努める。

##### 取組の成果

- 実証事業に参加する地域クラブで指導する者は、研修を年1回受講することとしていたが、既にJSPO公認指導者資格保有者が多かったため研修は未実施。今後令和7年4月末までに県で主催する地域クラブ指導者養成研修会（オンライン方式）を受講してもらう。
- 地域のスポーツ団体関係者をとおして、25名の指導者を確保できた。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

##### 取組事項

##### ・「城里町地域クラブ活動推進協議会」の設置

この協議会のメンバーとして、町議会、町スポーツ協会、町スポーツ少年団、町スポーツ推進委員、町立中学校等の代表に委員としていて、関係団体との連携を図っている。

##### ・町スポーツ協会指導者、町スポーツ少年団指導者、学校顧問の先生と意見交換会を密に行った。

##### 取組の成果

##### ・推進協議会をとおして、様々な機関・関係者が連携協力しながら取り組んでいかなければ、円滑に進まないことがわかった。

##### ・関係スポーツ団体と連携し、地域の実情等を加味した独自のスケジュールを策定して、関係者間で協議を重ね、地域クラブ活動を始動することができた。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

##### 取組事項

・令和6年度については、国や町等の補助金を活用して、参加者からの会費は無料とした。

##### 取組の成果

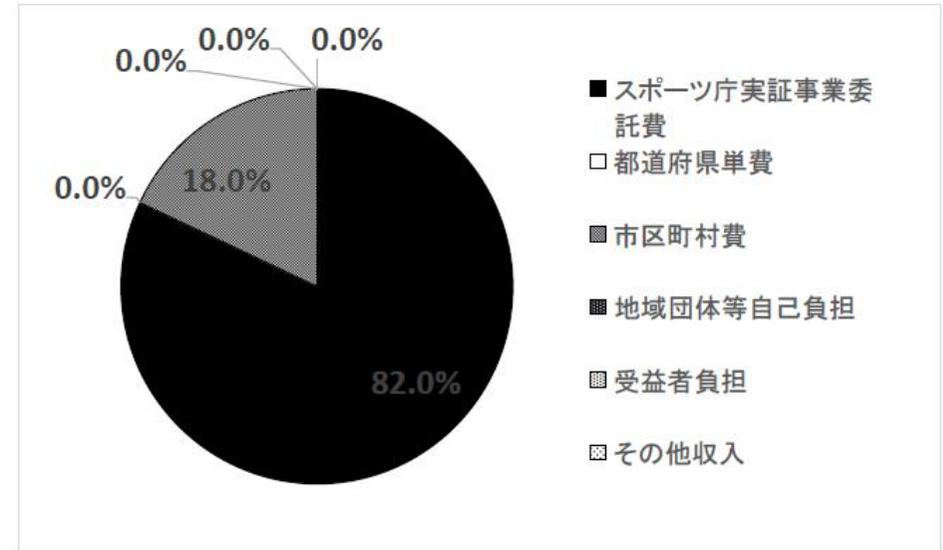
・保護者負担を軽減することができた。また、部活動に入っている生徒の大半は地域クラブ活動にも参加することができた。

##### 特に工夫した事項

・保護者説明会において、今後については受益者負担があることを伝えた。

##### 今後の課題と対応方針

- ・家庭の経済状況にかかわらず、会費の負担自体や、部費と比べて金額が上がることに強い抵抗感を示す保護者が出てくることも想定され、保護者理解を得ていく必要がある。
- ・経済的に困窮する家庭においては、地域のスポーツ団体等への会費を支払うことが難しく、スポーツ活動に参加できないことも想定される。家庭の経済状況等にかかわらず、誰でもスポーツに親しむ機会を確保することは重要な課題である。



運動部活動の地域スポーツクラブ活動への移行に向けた取組 (スポーツ庁事業+自治体独自事業)	自己調達割合 (都道府県・市区町村費+受益者負担+その他)	18%
	受益者負担割合	0%

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

- 地域クラブ活動推進協議会において、様々な機関関係者が連携協力しながら意見交換、情報共有ができた。
- 地域の指導者、学校関係者、教育委員会で意見交換会を何度も開催し、意見交換、情報共有、方向性が確認できた。
- できる部活動から休日の運動部活動の地域移行に取り組むことができた。
  - サッカークラブ
  - 女子バスケットボールクラブ
  - 男子バスケットボールクラブ
  - 男子ソフトテニスクラブ
  - 女子ソフトテニスクラブ
  - 剣道クラブ

#### ●成果の評価

- 町内の2つの学校の生徒と一緒に練習することにより、親睦交流が深まった。
- より専門的な指導を受けることができた。
- ICTの活用により、連絡、スケジュール、出欠管理など情報共有が円滑にできるようになった。

#### ●今後に向けて

- まだ地域移行できていないクラブの指導者を確保する。(野球・卓球)
- 地域における指導者の質・量の確保方策や、指導を希望する教師等の在り方等について整理する。
- 適正な額の会費の在り方について整理する。
- 学校体育施設の利用・管理の在り方について整理する。
- 今後の大会参加機会の在り方について整理する。

### アンケート結果・参加者の声

#### ●アンケート質問

Q.地域クラブの練習についてどう思いますか?

#### ●参加者の声

##### 中学生

- 2つの学校が合わさることで、練習にほどよい緊張感ができた。
- 違う学校の人とやったから緊張感を持って楽しくできて良かった。
- 質の高い練習ができて良かった。
- 通常5人で練習しているが、2つの学校でやることによって、多くの練習ができて良かった。
- 基礎を学べた・分からなかったことを教えてくれてサーブが入るようになった。
- わかりやすく教えてくれて、ボレーの仕方や力を入れるタイミングがよく分かった。
- 悪いところを指摘してもらって良かった。おかげで少し良くなった。
- サーブのトスのやり方が良くわかった。

##### 保護者

- 保護者も手伝えることがあれば手伝いたい。
- 経験ある方に指導していただいて技術の向上が図られた。
- 受験も大切なので、休日の練習は3時間で充実させてほしい。
- 休日のクラブ活動も学校で練習ができるので安心した。
- 指導してくれる方が増えて、子供達も楽しく練習ができています。

##### 指導者

- 生徒達が新しいメニューや他の学校の生徒と一緒にやることに刺激を受けていて、楽しそうだった。
- 自分自身もメニューや教え方、関わり方などとても勉強になった。
- もっと質の高い練習を目指したいと思った。
- 技術面で自己流が多いので改善させていきたい。
- あいさつ、礼儀等についても指導していきたい。

## 2.実証内容と成果③

### 参考資料（活動写真）



【サッカークラブ】



【男子バスケットボールクラブ】



【女子バスケットボールクラブ】



【ソフトテニスクラブ】

### 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和5年

協議会設置、  
検討開始

令和6年

受け皿団体や  
指導者の選定

学校現場との  
調整

生徒、保護者へ  
の説明

地域クラブ活動  
の開始

令和7年

地域クラブ活動  
の拡大

#### ●協議会設置、検討開始

#### ●経過

令和4年3月に「城里町地域クラブ活動推進協議会」を設置し、令和5年1月に第1回、令和5年3月に第2回推進協議会を開催した。

#### ●実施にあたって生じた課題

地域クラブ活動へ移行するという認知度がまだ浸透されていなかった。

#### ●実施内容、工夫した点等

これからの部活動に関するアンケート調査を実施した。(小学生、中学生小学生保護者、中学生保護者、教職員、部活動指導員、スポーツ文化団体等)

#### ●受け皿団体や指導者の選定

#### ●学校現場との調整

#### ●経過

令和5年2月アンケート調査で指導可能と回答いただいた方を対象に、意見交換会を行った。また、各種目の顧問の先生を交えて意見交換会を行った。

#### ●実施にあたって生じた課題

指導はできるが、土日も仕事で夜しか指導できないという方もいた。

#### ●実施内容、工夫した点等

指導者打合せは、1回だけではなく何度も意見交換を行った。また、対面だけでなく、電話やメール、仕事が終わった夜などにも打合せを行った。

#### ●生徒、保護者への説明

#### ●経過

指導者が確保できた種目から保護者説明会を実施した。

#### ●実施にあたって生じた課題

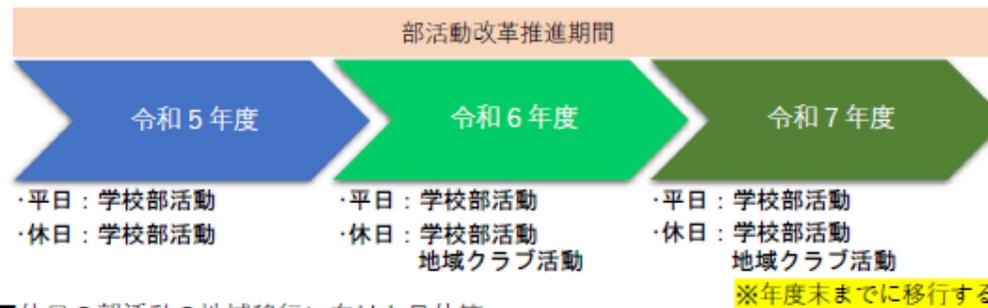
先生の指導と、地域指導者の指導方法を統一してほしいとの意見があった。

#### ●実施内容、工夫した点等

保護者説明会に参加しやすいように説明会は夜に開催した。また、各学校単位で説明会を行った。当日だけでなく、質問があれば、電話やメールでの対応も行った。

## 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

### ■部活動の地域移行スケジュール



### ■休日の部活動の地域移行に向けた具体策

	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動形式	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校部活動</li> <li>地域クラブ活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校部活動</li> <li>地域クラブ活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域クラブ活動</li> <li>*令和8年度からの休日の部活動なし</li> </ul>
運営主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校</li> <li>教育委員会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校</li> <li>教育委員会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育委員会</li> </ul>
指導方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校部活動にて指導方針を決定。</li> <li>地域クラブ活動にて指導方針を決定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校部活動にて指導方針を決定。</li> <li>地域クラブ活動にて指導方針を決定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域クラブ活動にて指導方針を決定。</li> </ul>
補償	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校部活動の場合は、災害給付</li> <li>地域クラブの場合は、各種スポーツ保険</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校部活動の場合は、災害給付</li> <li>地域クラブの場合は、各種スポーツ保険</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域クラブの場合は、各種スポーツ保険</li> </ul>

令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 茨城県 大子町

自治体名：茨城県大子町

担当課名：教育委員会事務局 生涯学習担当

電話番号：0295-72-1148

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

面積	325.76 km <sup>2</sup>
人口	14,457 人
公立中学校数	4 校
公立中学校生徒数	274 人
部活動数	11 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置無
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定無

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

本町は、茨城県の最北西端に位置し、東西19km、南北28kmで、総面積325.76km<sup>2</sup>と広大な町である。町立中学校は4校あり、町中心部に中学校があるほか、東西南にその他の中学校が点在している状況にある。

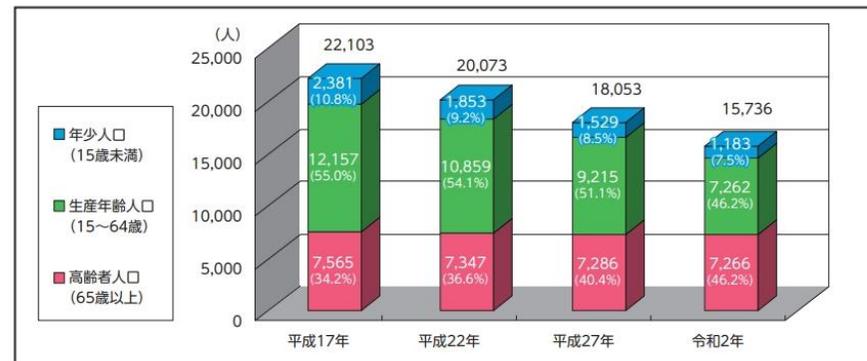
町の人口は、少子高齢化の影響もあり、人口減少に歯止めがかからない状況であり、町立中学校の生徒数は274人と年々減少の一途をたどっている。そのため、令和7年度には町中心部に位置する中学校に、その他の中学校が統合することになっている。

部活動については、各中学校において活発に

行われているが、前述の生徒数の現状から団体競技ではチームが組めない事態が発生するなどの影響がある。

令和6年度に実施した実証事業においては、サッカー、ソフトテニスを先行して実施したが、人口減の影響による指導者の確保の問題、広大な町ゆえの生徒の移動手段の確保、夏季期間における熱中症対策や事業運営主体の確立など複数の課題が確認されている。

年齢別人口の推移

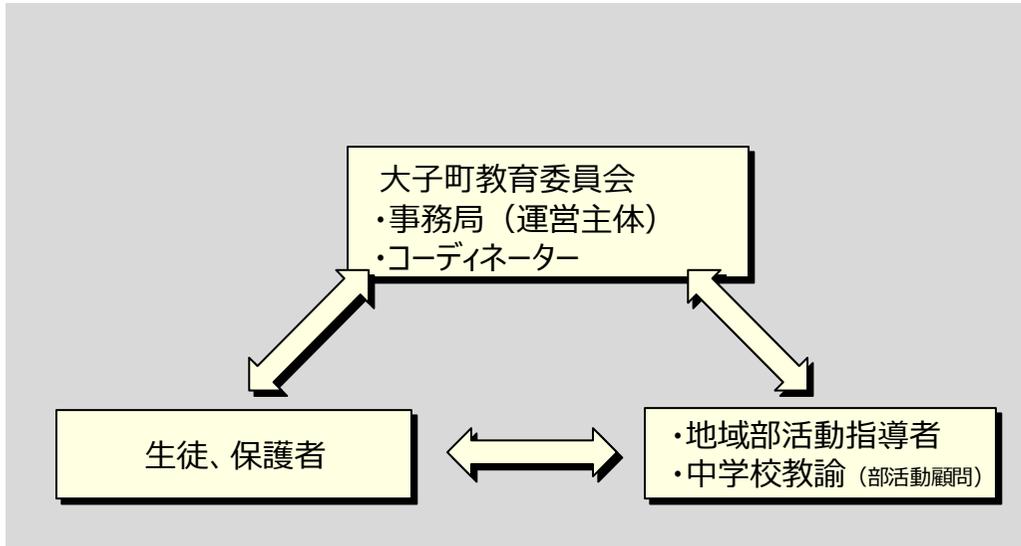


出典：第7次大子町総合計画

## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



#### ●行政組織内での役割分担

##### ◎教育委員会

- ・生涯学習担当・・・部活動地域移行運営事務局、学校との連絡調整
- ・学校教育担当・・・学校との連絡調整、部活動指導員（平日）の情報提供

##### ◎首長部局

- ・財政課・・・予算措置
- ・まちづくり課・・・ふるさと納税等の検討

### 年間の事業スケジュール

令和6年5月	各中学校PTA総会説明
令和6年5月	町スポーツ少年団総会説明
令和6年6月	町スポーツ協会総会説明
令和6年6月	募集開始
令和6年7月	部活動の地域移行実証事業 スタート
令和6年10月	アンケート調査（保護者）
令和6年11月	翌年度実証事業の予算要求
令和7年1月	アンケート調査（保護者）
令和7年2月	部活動の地域移行実証事業 終了

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

中学校数	4校	実施した地域クラブ総数	2クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		2クラブ（2部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導者数	7人	全体の運営スタッフ数	2人

#### ②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
サッカー部	教育委員会	サッカー	原則、第2・第4土曜日（月2回）	8:30～11:30	1年 6人 2年 9人 3年 2人	令和6年7月～令和7年2月	大子広域公園	2人	2人（内、兼務1人）	会費徴収なし	中体連：部活動
ソフトテニス部（男女）	教育委員会	ソフトテニス	原則、第2・第4土曜日（月2回）	8:30～11:30	1年 12人 2年 20人 3年 3人	令和6年7月～令和7年2月	大子広域公園	5人	2人（内、兼務1人）	会費徴収なし	中体連：部活動

#### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 特になし

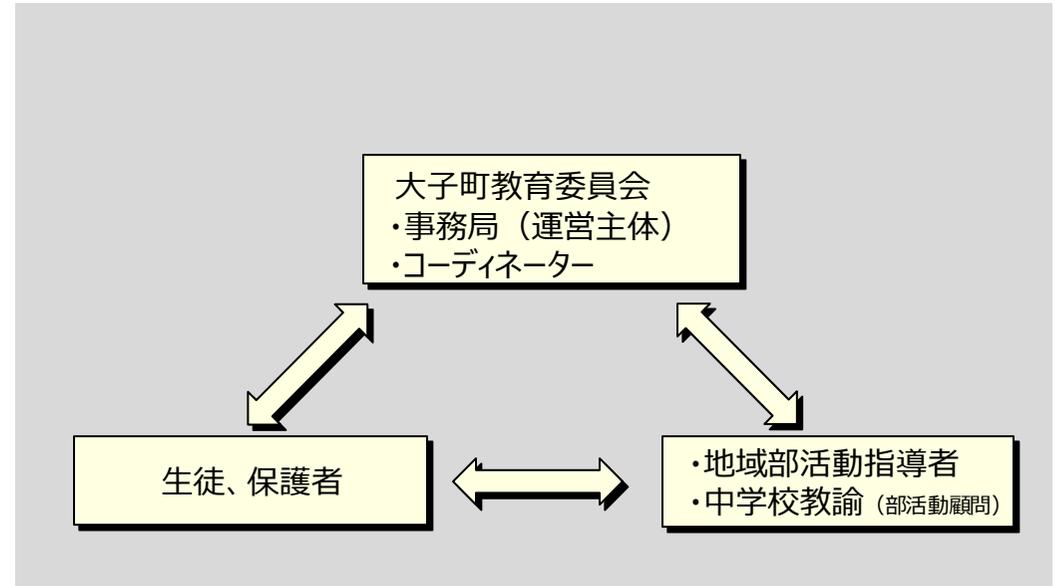
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ● サッカー部、ソフトテニス部 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	サッカー、ソフトテニス（男女）
運営団体名	大子町教育委員会
期間と日数	サッカー：7月1日～2月28日 第2・第4土曜日 ソフトテニス：7月1日～2月28日 第2・第4土曜日
指導者の主な属性	部活動指導員（平日）
活動場所	大子広域公園
主な移動手段	保護者送迎、自転車
1人あたりの参加会費等（年額）	両部活動とも会費無し
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

#### ● 運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



#### ● 指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 事務局（教育委員会）  
役割：総括、活動場所の確保や保険加入事務など運営事務を担当する。
- 地域部活動コーディネーター  
役割：運営管理として、地域部活動指導者、保護者との連絡調整を行う。
- 地域部活動指導者 7名  
役割：活動における指導者として、生徒への指導を行う。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

- 保護者と地域部活動指導者、学校間の連絡調整のため、地域部活動コーディネーターを1名配置した。
- 保護者、地域部活動指導者及び運営主体との連絡ツールとして携帯アプリ（Sgrum）を導入した。
- 運営主体（教育委員会）により、関係スポーツ団体や学校関係者との事前協議会を開催した。

##### 取組の成果

- 地域部活動コーディネーターの配置により、保護者や地域部活動指導者及び学校との連絡調整を円滑に行うことができた。
- 保護者等との連絡ツールである携帯アプリを導入したことにより、アンケート等の意見集約が容易に行うことができた。また、運営主体側で、保護者と地域部活動指導者の情報交換過程を可視化することができた。
- 地域部活動指導者の配置推薦など、適任者の選出に助力いただくことができた。また、事前協議会の開催により、運営に当たっての問題点の抽出や地域部活動指導者と学校関係者の意思疎通などが円滑に行うことができた。

##### 地域部活動コーディネーターの具体的な動きの実績

- ・活動実施日には会場に赴き、地域部活動指導者から課題等のヒアリングを実施
- ・保護者等との連絡ツールであるアプリにより、アンケート調査を実施
- ・保護者、地域部活動指導者及び学校との連絡調整を実施

##### 今後の課題と対応方針

- ・運営主体が教育委員会であり、今後、より地域に移行していくために、運営主体・体制の再考及び移行が必要である。
- ・地域部活動コーディネート業務を担う人材の発掘・育成を図る方策の検討を行う。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

##### 取組事項

- 町内のスポーツ団体への相談や学校関係者との内部協議を行うことにより、地域部活動指導者の発掘及び助言をいただいた。
- 平日の中学校において部活動を指導している「部活動指導員」に実証事業の指導者を依頼した。
- 地域部活動指導者を確保することができた「サッカー部」、「ソフトテニス部」のみを先行して実証事業の対象とした。
- 両部の地域部活動指導者においては、町内のスポーツ少年団等での指導経験も判断材料とした【資格については、要件としていない】。
- 学校における各部活動の顧問と各部の地域部活動指導者間での打合せ会及び実施会場での指導方法の共有を実施した。

##### 取組の成果

- 両部の地域部活動指導者は、日頃からスポーツ少年団等でも指導を行っており、保護者や生徒との面識もあることから、円滑な事業導入が可能であった。
- 平日（週1日）は、「部活動指導員」として学校での指導を行っているため、部活動顧問と指導方法等の円滑な伝達が行うことができた。
- 部活動の顧問との会議等により、指導方法等の円滑な伝達が行うことができた。

##### 今後の課題と対応方針

- 地域移行後も教育の一環であることを念頭に置き、地域部活動指導者の指導方法や生徒との接し方など、指導者の質の向上に努めていく必要がある。
- 地域部活動指導者には、外部の指導者研修会などに参加することを事業主体からも促す必要がある。
- 事業主体が主催して、地域部活動指導者に対する研修会を開催するなど、参加しやすい環境を作ることも必要である。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

### 取組内容

#### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

##### 取組事項

- 各中学校におけるPTA総会や学校長会において、令和6年度に実施する実証事業の内容等を説明した。
- 地域部活動指導者の選出などにおいては、町内の各スポーツ団体に相談し、人材を確保した。
- 生徒の活動場所への送迎については、保護者に協力を依頼した。

##### 取組の成果

- 実証事業の実施に当たっては、募集文書の配付や希望者の集約において、各中学校の協力を得ることができた。
- 各スポーツ団体の役員会や総会時において、実証事業の内容を説明する機会を得た。
- 保護者には、活動場所までの送迎の自己負担を理解をしていただき、全ての参加生徒が円滑に参加することができた。

##### 今後の課題と対応方針

- 次年度以降は、実施する地域部活動数を増加させる予定であることから、更なる地域部活動指導者等の確保が必要となるため、各スポーツ団体との連携強化は重要である。
- 小規模である組織または活動実績が少ない組織のスポーツ団体に対しては、様々なアプローチで連携を強化していく必要があるため、各組織等の育成についても課題となる。
- 本町は、広大な面積（325.76 km<sup>2</sup>）であり、公共交通機関も脆弱であることから、活動場所への保護者の送迎については、更なる理解を求める必要がある。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
**エ：面的・広域的な取組**

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

##### 取組事項

- 基本的に町内の4中学校の生徒を対象に実証事業を実施した。
- 活動場所は、町のほぼ中心に位置する大子広域公園のグラウンド及びテニスコートを設定した。
- 移動手段については、保護者の送迎を原則とした。

##### 各自治体の役割

特になし

##### 移動手段

- 活動場所までの保護者の送迎については、実証事業に参加する際の条件とした。

##### 事務局運営の方法

特になし

##### 取組の成果

- 保護者には、活動場所までの送迎の自己負担を理解していただき、全ての参加生徒が円滑に参加することができた。

##### 今後の課題と対応方針

- 令和7年度から町中心部の中学校へその他の中学校は統合となり、町内は一つの中学校のみとなる。
- 送迎については、活動場所が複数になることから、公平性担保のため引き続き保護者負担の理解を得ることが必要である。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

**オ：内容の充実**  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 オ：内容の充実①

##### 取組事項

- 各中学校において、サッカー及びソフトテニス部に所属していない生徒の参加も可能とした。
- 中学3年生の最後の公式大会が終了した後に募集を開始したが、実証事業では3年生の生徒の参加を可能とし週末のスポーツ活動の一助とした。

##### 活動の詳細

参加人数 (中学校3年生に限る)	サッカー部 2人 ソフトテニス部 3人	指導者数	7人(実証事業と同数)
具体的な内容	両部活動とも中学3年生の最後の公式大会が終了した後の生徒も参加可能とした。		
子供の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 部活動の競技に参加できて良かった。</li> <li>● 今よりも上手になりたかった。</li> </ul>		
関係者の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 卒業後も継続して競技に取り組めるように意識付けができた。</li> <li>● 卒業までの空白時間に活動ができて良かった。</li> </ul>		
運営経費	基本的に、部活動の地域移行の実証事業に参加する形となるので、特段の運営経費は発生していない。		

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

##### 取組事項

○部活動の地域移行については、運営主体が教育委員会だったこともあり、保護者負担を求めなかった。  
 ○右は、部活動の地域移行に係る実証事業に要した経費であり、地域クラブ等へと移行した際に見込まれる最小限の経費となる。

##### 部活動の地域移行に係る経費

##### ■イニシャルコストの分析

○部活動用備品（36千円）

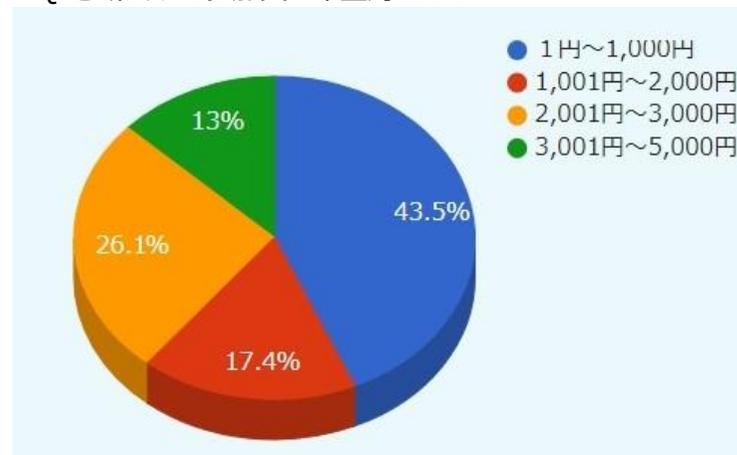
##### ■ランニングコストの分析

○会場使用料（97千円）  
 ○指導者謝金（404千円）  
 ○コーディネーター謝金（335千円）  
 ○消耗品費（12千円）  
 ○連絡アプリ使用料※初年度無料（0千円）  
 ○保険料（56千円）

##### 今後の課題と対応方針

○運営主体が教育委員会であったため、地域部活動コーディネーターを除く事務局員に係る経費は含まれていない。部活動の地域移行の事務に一定程度の時間、労力は割かれており、運営主体が他の団体に移行となった場合の課題となり得る。  
 ○地域クラブ等に移行になった際には、上記経費についての保護者の負担が発生することになる。保護者アンケートにおいては、右図のような結果（月額負担は可能な限り安価な額を希望）となっているので、費用負担の額、割合等について検討が必要である。  
 ○地域クラブ等は、学校部活動と実施形態等が異なることから、費用負担については保護者のより一層の理解を必要とする。

Q 地域クラブの参加費の希望月額額は？



出典：地域移行に係る保護者アンケート

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

○拠点となる中学校での活動を想定したが、参加生徒数や活動場所の広さなどから、大子広域公園（学校以外）を活動場所として設定した。

○他の利用団体と競合しないよう、活動場所の確保に向け調整を行った。

##### 取組の成果

○地域部活動指導者の都合や天候などにより、活動実施日や時間に変更となることはあったが、活動回数の全てを実施することができた。

○活動場所が同一であったため、活動日当日の地域部活動コーディネーターの移動等が容易にできた。

○活動場所は、町のほぼ中心に位置しており、保護者の送迎においても負担が軽減された。

大子広域公園 多目的運動広場



大子広域公園 テニスコート



出典：茨城県HPより

##### 今後の課題と対応方針

○次年度は中学校が統合となり一つの中学校となる。そのため、活動場所については、学校施設を活用する機会が増加するので、学校管理者の理解が必要となる。

○学校施設を利用する場合、原則無料になると想定される。学校施設以外を使用する部活動と差が出ないようにするため、公平さを担保する調整が必要となる。

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

令和6年度においては、部活動の地域移行の実証事業として、サッカー部とソフトテニス部の二つの競技を先行して実施した。運営主体は、時間・内容・組織的な制約があったことから、教育委員会生涯学習担当が主体となり事業をすすめた。

事業推進にあたっては、サッカー部2名とソフトテニス部5名の地域部活動指導者を配置するとともに、地域部活動コーディネーターを配置して、地域部活動指導者・保護者・学校との連絡調整に努めた。

事業開始は、中学校の総体が終了した後であったが、両部活とも全学年の生徒の参加があり、中学校の部活動に加入している参加者の比率も比較的高いものであった。

夏季においては、熱中症警戒アラートが発生する中で活動をする期間があり、運営側も地域部活動指導者側も細心の注意を払って事業を実施した。

運営については、教育委員会が主体となったが、今後、より多くの部活動が地域に移行されていくために、適度な裁量権のある団体や事務局等体制が整備された団体への運営主体移行を検討する必要がある。

#### ●成果の評価

○地域部活動コーディネーターについて、実証事業にあたり、地域部活動指導者と保護者の連絡調整や学校や関係団体の連携推進など、活動の運営に必要な諸業務に対応した。

○連絡ツールアプリについて、地域部活動指導者や保護者間の活動・欠席連絡はもとより、定期的なアンケート調査の実施や集計にも利用することができた。また、連絡内容等も可視化することができた。

○活動場所への送迎については、保護者が送迎することで理解をいただいた。活動場所が複数箇所になったときも、公平性の原則から生徒の保護者送迎に引き続き理解を得たい。

#### ●今後に向けて

○運営について、次年度も引き続き教育委員会が主体となる予定だが、持続的な活動にするためには、新たな団体への運営主体の確立・移行も検討していかなければならない。また、地域部活動コーディネーターの配置も継続的に必要である。

○夏季期間における熱中症対策について、一部活動時間を夜間帯に移行するなど、参加者（保護者）の理解を得ながら実施検討する必要がある。

○地域部活動指導者について、複数の部活動において量を確保する必要があるため、スポーツ団体や学校等の連携強化が必要になる。質についても同様であり、町主催の指導者研修会の開催も検討していかなければならない。

○生徒の送迎について、広大な面積を持つ町であり、公共交通機関も脆弱であることから、引き続き保護者の送迎が必要なことの理解を求めていく。

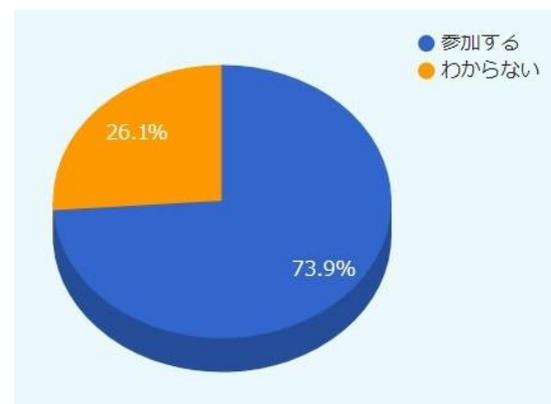
### 地域移行に係る保護者アンケート結果

#### ●アンケート結果

Q1.現在の活動日（第2・4土曜日）を毎週土曜日にするのを検討していますが、どのように考えますか？



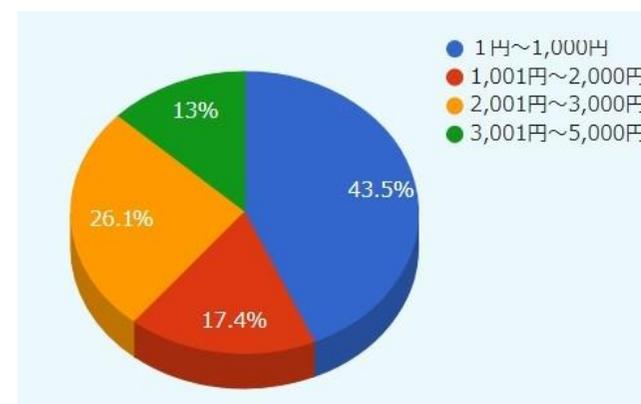
Q2.将来的に、部活動が完全に地域移行（平日の活動を含む。）された場合、その活動に参加しますか？



Q3.将来的に、地域移行先が地域クラブ（Jrユースなど）になった場合、その活動に参加しますか？



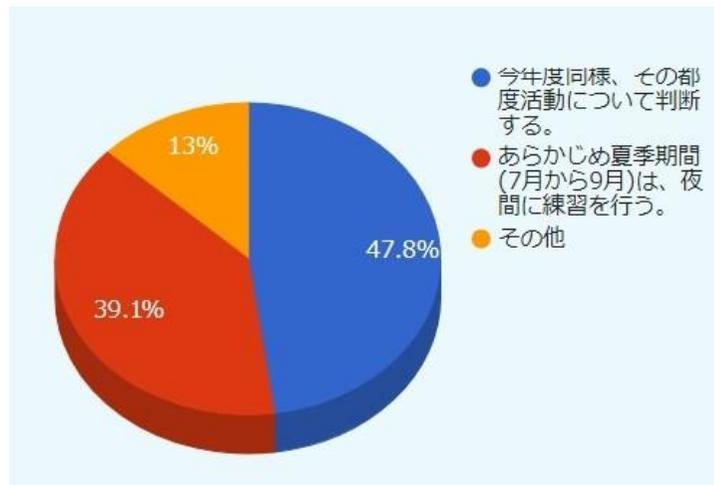
Q4.Q3で「有料でも参加」と答えた方にお聞きます。参加費月額がどのくらいであれば参加を検討しますか？



### 地域移行に係る保護者アンケート結果・意見など

#### ●アンケート結果

Q5.熱中症警戒アラートが発表された場合、原則、活動は中止となります。来年度以降に、警戒アラートが発表された場合の対応についてお伺いします。



#### ●自由意見

##### 活動の頻度に係る意見

(隔週で実施を希望)

- ・仕事があり現地までの送迎が難しい。
- ・活動日を増やしても参加者が少なく人が集まるのか分からない。
- ・送迎の都合を考えると隔週の実施で良いかと思います。

(毎週の実施を希望)

- ・同一の指導者から指導を受けた方が良いと思うため。
- ・平日の部活動時間が少ないので、休日に充実した練習を行って欲しい。
- ・専門的な知識のあるコーチの指導を受けた方が、子どもにとってプラスになると思う。

##### 実証事業についての改善点など

- ・中学校の顧問と地域活動のコーチのどちらの指導をメインとするかをハッキリしてもらいたい。
- ・熱中症アラートが出ても大会は実施されるので、活動を中止するのではなく、多めの休憩や時間短縮など様子を見ながら練習して欲しい。
- ・経験者と未経験者の練習内容を別にする。
- ・練習だけではなく、試合や技術向上の研修会などがあると良い。